



音声多重放送（ステレオ/二重音声）対応
PCIバス用テレビチューナー/ビデオキャプチャカード

PrimeTV 7133

（プライムティーヴィー・なないちさんさん）

型番: NV-PT1000

ユーザーズマニュアル

User's Manual

Rev. 1.01 / 2002年10月



【安全に正しくお使いいただくために】

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項に従って、正しく安全にお使いください。

警告・注意

けがの恐れがあります。

- ・ 落下、不用意な接触などに十分注意してください。製品には尖った部分があります。足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつかるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理して下さい。
- ・ コネクタなどの接続や、ディスクなどの装着などには十分注意してください。インターフェースカードの接続部、コネクタやディスクの開閉部などには鋭利な部分があります。装着時の不用意なけがなどには十分注意して下さい。
- ・ ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- ・ 直射日光のあたる場所、強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。

感電・けが・失明の恐れがあります。

- ・ 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止して下さい。また、破損部分や内部には手など触れないようにして下さい。
- ・ 分解しないで下さい。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- ・ 湿気やほこりの多い所、水中などで使用しないで下さい。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- ・ 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。

ソフトウェア保証規定（使用許諾書）

本書は、お客様が本製品（プログラム・マニュアル・その他本製品添付資料を含み、以下「許諾プログラム」といいます）の使用者であることを証明し、かつ弊社との使用許諾契約書に同意いただいた証明として大切に保管して下さい。

1. 許諾プログラムは、お客様ご自身が所有する単一のコンピュータシステムにおいて、これに読み込み可能な形式にてご使用下さい。
2. 許諾プログラムの複写・複製を禁止いたします。
3. 弊社の事前の文書による承諾なくして、第三者に許諾プログラムの貸与もしくはその他の方法で使用させないものとします。
4. 弊社の事前の文書による承諾無くして、許諾プログラムの変更または改造を行なわないものとします。
5. 許諾プログラムをレンタルなどの賃貸業に使用できません。
6. 許諾プログラムの使用に起因して、お客様が被る直接ならびに間接損害に関して、弊社はいかなる責任も負いません。
7. お客様が前記各条項を守っている限り、弊社は許諾プログラムに対し次のサービスをいたします。
 - 1) お客様からの電話または文書によるお問い合わせに対してサポートいたします。
 - 2) 許諾プログラムの媒体（フロッピーディスクなど）の破損事故を起こしたとき、有償で同一の新しい媒体を再提供いたします。
8. 上記1から6のいずれかの条項に違反する行為があったとき、著作権法等関連法令による法律上の制裁を受けることがあります。

ご注意

1. 本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしておりますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. 本ソフトウェアおよび本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- ※ PrimeTV、ReMiX 2000、ReMiX DXTは株式会社ノバックの、LifeView、FlyVideoはAnimation Technologies, Inc.の商標です。
- ※ iEPGはソニー株式会社の商標です。株式会社ノバックはソニー株式会社よりiEPG（インターネット電子番組表）クライアントに関するライセンスの供与を受けています。
- ※ Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。
- ※ その他、本書に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
- ※ 本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。
- ※ 本書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載、または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

警告：他者の著作物や録音・録画物を、私的な目的以外で著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定等により禁止されています。また私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作物や録音物の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに配信が可能な状態にすることは一切禁止されております。株式会社ノバックでは、この製品が上記注意事項を遵守されずに使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

もくじ

PrimeTV 7133 のご紹介	4
第1章 PrimeTVカードの取り付け	5
1.1 パッケージの内容	5
1.2 動作条件	5
1.3 PrimeTVカードの取り付け	5
第2章 ドライバ・ユーティリティのインストール	8
2.1 Windows 98SE/Meへのインストール	8
2.2 Windows 2000へのインストール	9
2.3 Windows XPへのインストール	11
2.4 標準ユーティリティソフトのインストール	12
第3章 ユーティリティの使い方	14
3.1 テレビ受信ソフト LifeView FlyVideo	14
3.2 各部の名称と使い方	15
3.2.1 TV 設定	15
3.2.2 ビデオ設定	16
3.2.3 オーディオフォーマット	16
3.2.4 チャンネルリスト機能	16
3.2.5 番組表表示	17
3.3 ビデオキャプチャの手順	17
3.4 予約録画の手順	19
第4章 短縮キー一覧	20
第5章 リモコン	21
第6章 付属ソフトの使い方	22
6.1 付属ソフトについて	22
6.1.1 インストール手順	22
6.2 honestech TVR	24
6.2.1 動作条件	24
6.2.2 各部の構成と名称	25
6.2.3 iEPGを利用した録画/視聴予約の手順	34
6.2.4 手動による予約録画/視聴手順	36

6.3 honestech MPEG Editor 4.0	38
6.3.1 動作環境	38
6.3.2 インストール手順	38
6.3.3 画面の構成	39
6.3.4 フレーム編集の手順	46
6.3.5 タイトルの編集と保存手順	49
6.3.6 オーディオの編集と保存手順	51
6.3.7 エフェクトの適用と保存手順	52
第7章 サードパーティ製ソフトとの互換性	55
7.1 使用可能なサードパーティ製ソフト	55
7.2 LifeView FlyVideo AM Sourceの使用法	55
7.3 DirectShowダイアログボックス	56
7.3.1 ビデオキャプチャ/プレビューピン	56
7.3.2 ビデオキャプチャフィルタ	56
7.4 製品別の注意点	57
7.4.1 Windows Media Encoder Ver. 7以降	57
7.4.2 Ulead Systems社製品	57
7.4.3 hunuaaCap（ふぬああキャプチャ）	58
7.4.4 RealProducerおよびその他のVideo for Windows アプリケーション	58
7.4.5 Windows ムービーメーカー	58
第8章 Q&A	59
製品保証／ユーザーサポートについて	63

PrimeTV 7133 のご紹介

このたびはPrimeTV 7133をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品はテレビ放送の視聴はもちろん、テレビ放送や外部入力からの動画・静止画の取り込みにも活用できる、多用途なマルチメディア機器です。

主な特徴

高画質 9 ビットビデオデコーダ採用: Philips Semiconductors 社製 9 ビットアナログ-デジタルコンバータ (ビデオデコーダ) を採用し、従来の一般的なビデオキャプチャカードに比べて色の再現性・質感に優れています。

日本専用テレビチューナー搭載: VHF/UHF(1~62 チャンネル)および CATV(C13~C63 チャンネル)の受像が可能なチューナーを搭載しています。中間周波数 58.75MHz の日本専用のユニットを採用し、VHF 1 および 6 チャンネルで発生しうる中間周波数の高調波との干渉を、根本的に解消しました。

音声多重放送対応: 日本方式のテレビ音声多重放送(ステレオ/二重音声※1)に対応し、音楽やスポーツ番組を臨場感あふれるステレオ音声で楽しめるほか、映画の原語の台詞やニュースの副音声も聴けます。もちろん録画も可能です。

豊富な外部インターフェース: 75 Ω F 型同軸アンテナ端子 (ケーブル放送対応)、コンポジット (RCA) /S ビデオ入力、音声入力、音声ライン出力を備えています。

赤外線リモコン同梱: チャンネルや音量の調整が、パソコンから離れていても可能です。

MPEG-1/2/AVI 動画キャプチャ(※1): 編集・加工のしやすい AVI 形式によるキャプチャはもちろん、長時間録画に便利な高圧縮率の MPEG-1/2 形式によるリアルタイムソフトウェアキャプチャも可能です。

外部入力端子を通じたビデオキャプチャ機能: 背面の AV 入力や S ビデオ入力にビデオカメラやビデオデッキなどを接続し、動画やスクリーンショット(静止画)などのキャプチャ(取り込み)が可能です。

DirectShow 準拠: DirectShow 準拠により、Microsoft Windows Media Encoder などの他社製アプリケーションでもお使いいただけます。(※2)

※1 録画(キャプチャ)可能なファイルサイズは、Windows 98/Meの場合、AVI形式では最大 2GB、MPEG形式では最大4GBまで(FAT32ファイルシステム使用時)となります。4GB を超える大容量の録画を行うには、Windows 2000/XP上でNTFSファイルシステムのドライブ(パーティション)をお使いください。

※2 他社製アプリケーションの使用方法については、そのアプリケーションの開発元にお問い合わせください。弊社では対応しかねる場合がございます。

第1章 PrimeTVカードの取り付け

1.1 パッケージの内容

本製品のパッケージを開封したら、次のような内容物が含まれていることをご確認ください。

- PrimeTV 7133カード(本体)
- オーディオケーブル(サウンドカード接続用、両端ともステレオミニプラグ)
- 赤外線リモコン(単4乾電池2本および受光器付きケーブルを含む)
- インストールCD(バンドルソフトを含む)
- ユーザーズマニュアル(本書)
- 保証書
- ユーザー登録はがき

1.2 動作条件

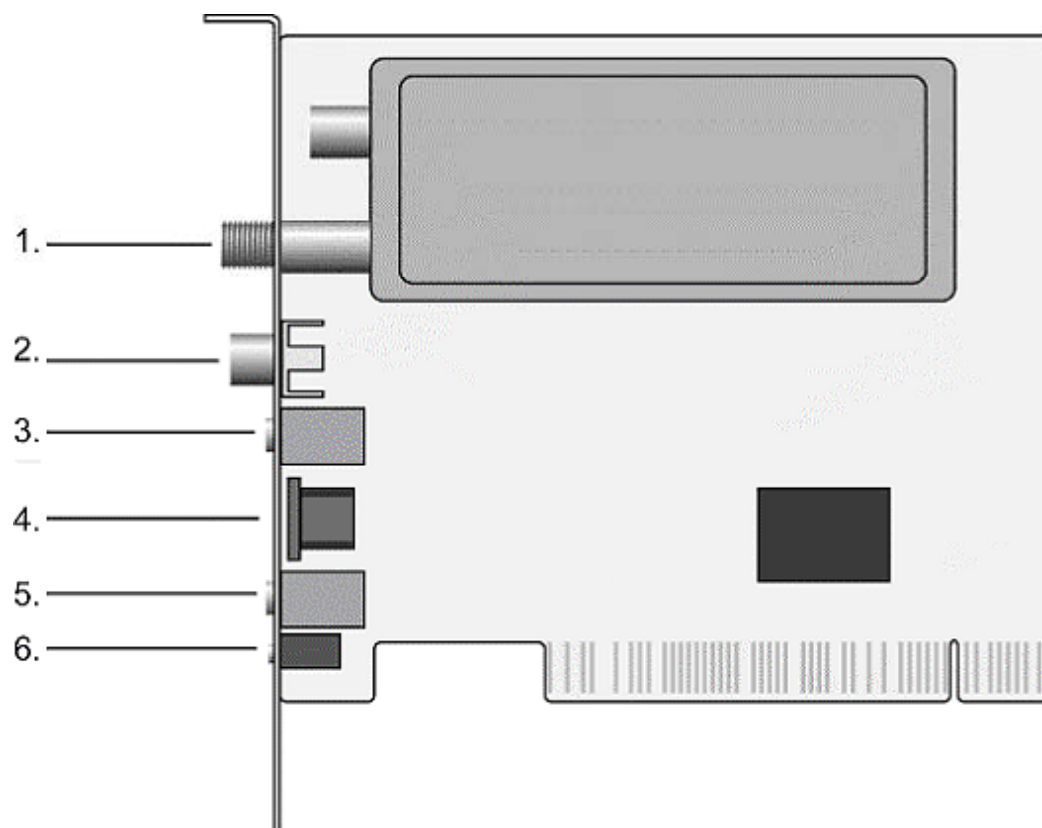
- IBM PC/ATまたはその互換機(DOS/Vマシン)
 - テレビ視聴用として、Pentium II 400 MHzまたは同等性能以上のCPU
(バンドルソフトの動作条件は異なります。本マニュアル第6章の、各ソフトの解説をご参照ください)
 - 64 MB(Windows 98/Me)、128MB(Windows 2000)、256MB(Windows XP)以上のメモリ
 - 10 MB以上のハードディスク空き容量
honestech MPEG Editorをインストールする場合は、計20MB
(各ソフトによって作成される動画などのデータ用の領域は含みません)
 - 少なくとも1つの空きPCI スロット(PCI 2.1以上)
 - 16ビットカラー以上対応のVGAとDirectDraw対応のディスプレイドライバ
 - 日本語版Microsoft Windows 98 Second Edition/2000 Professional/Millennium Edition/XP
(Home Edition/ Professional)
 - TV アンテナ(またはCATVケーブル)が使えること
 - ライン入力端子を備えたサウンドカードおよびスピーカー
 - CD-ROM の読み取れるドライブ(インストール用)
- ※ PrimeTV 7133の保証範囲は、日本国内に限定されます。また、音声多重放送は日本方式にのみ対応しています。海外ではお使いになれません。

1.3 PrimeTVカードの取り付け

PrimeTVカードをお使いのコンピュータにインストールする手順は、次の通りです。

1. コンピュータや周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
2. PrimeTVカードを装着する PCI スロットのスロットカバーやネジを外します。
3. PrimeTVカードをPCIスロットにしっかりと差し込み、手順2.で外したネジを使って固定します。
4. PrimeTVカードのアンテナ端子に TV アンテナケーブルを装着します。
5. 外部機器(サウンドカードなど)との接続については、後述する [PrimeTV 7133と外部機器との接続例] を参照してください。

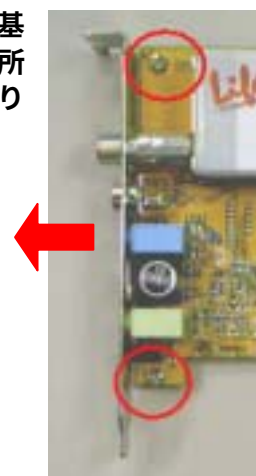
PrimeTV 7133 各部の名称



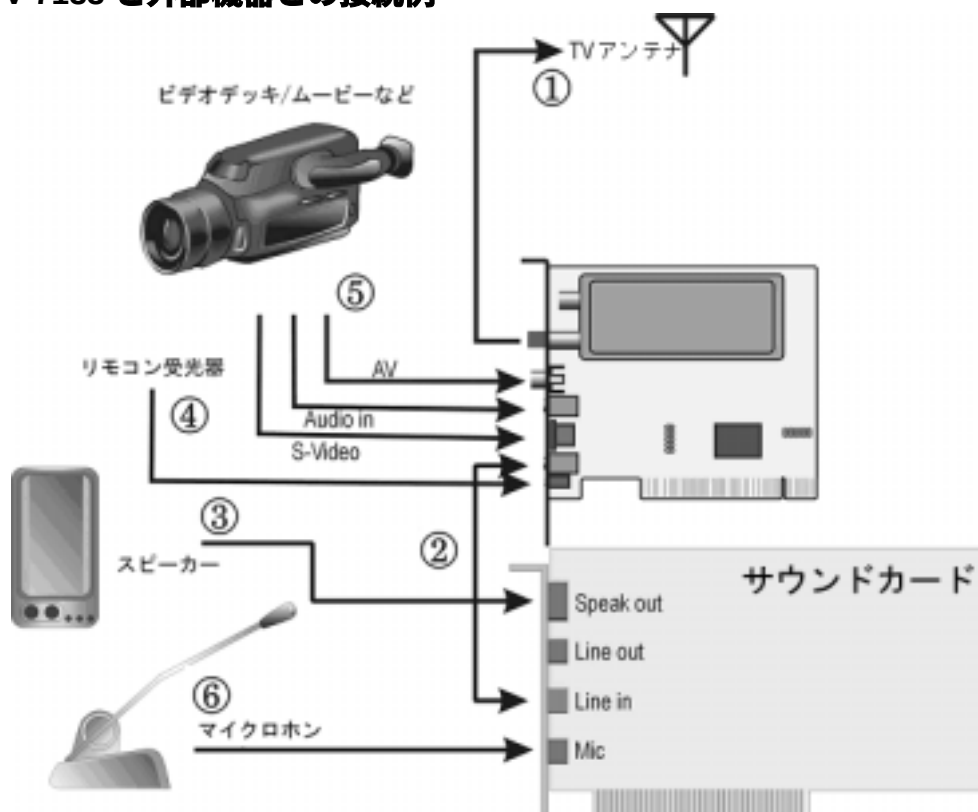
1. TV アンテナ端子 (F型接栓用)
2. コンポジットビデオ入力 (RCAピンジャック)
3. オーディオ入力 (ステレオミニジャック)
4. Sビデオ入力 (ミニDIN 4ピンジャック)
5. オーディオ出力 (ステレオミニジャック、サウンドカードのライン入力に接続)
6. 赤外線リモコン受光器コネクタ

※ F型接栓や同軸アンテナケーブル/フィーダー線、外部ビデオ機器の接続に必要なケーブルは本製品に付属していません。必要に応じて別途お求めください。

PCケース（筐体）に取り付けた際にネジ穴の位置がずれる場合は、基板左端のブラケット（スロット背面に当たる金属部分）のネジ2ヶ所（右の写真参照）を緩めて、ブラケットの位置を調整してから、取り付け直してみてください。



PrimeTV 7133 と外部機器との接続例



テレビ放送受信のための準備

- TV アンテナまたはCATVケーブルをアンテナ入力に接続します (①)。アンテナケーブルには「F型接栓(コネクタ)」の取り付けが必要です。お使いのアンテナケーブルにF型接栓が付いていない場合は、最寄りの電気店などでお求めの上、お取り付けください。
- PrimeTVカードのオーディオ出力と、お使いのサウンドカードの“ライン入力(Line-in)”を付属のオーディオケーブル接続します (②)。
- お使いのサウンドカードの“Speaker out”または“ライン出力(Line-out)”とスピーカーを接続します(③)。
- リモコン受光器ケーブルを受光器端子に接続します (④)。

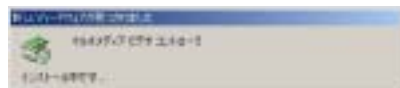
外部ビデオソース (ビデオデッキ、ビデオムービーなど)の接続

- ビデオ機器との間をAVケーブル / Sビデオケーブルで接続します (⑤)。
 - PrimeTVカードのオーディオ出力とお使いのサウンドカードの“ライン入力(Line-in)”を接続します (②)。
 - お使いのサウンドカードの“Speaker out”または“ライン出力(Line-out)”とスピーカーを接続します(③)。
- ※ PrimeTVカードのAudio In端子にビデオデッキなど外部ビデオ機器からの音声出力を接続される場合、お使いのビデオデッキによっては出力音声ソースを切り替えないと、音声はPrimeTV側に正しく入力されないことがありますので、ご注意ください。詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご参照ください。

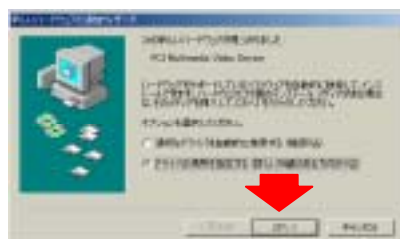
第2章 ドライバ・ユーティリティのインストール

2.1 Windows 98SE/Meへのインストール

A. LifeView FlyVideo WDM Video Captureドライバの設定

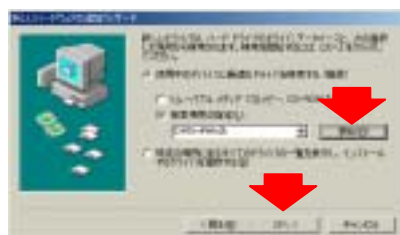


1. お使いのシステムを起動すると、Windows により 新しいハードウェアとして“マルチメディア ビデオ コントローラ”が検出されます。

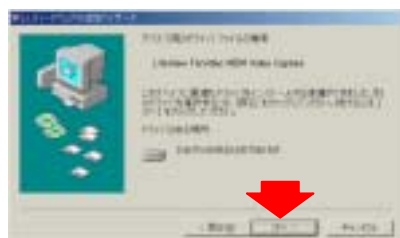


2. 本製品のインストール CD-ROMをCD-ROM ドライブにセットし、
 - Windows 98SEでは[使用中のデバイスに最適なドライバを検出する (推奨)]
 - Windows Meでは[ドライバの場所を指定する]を選択します。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。

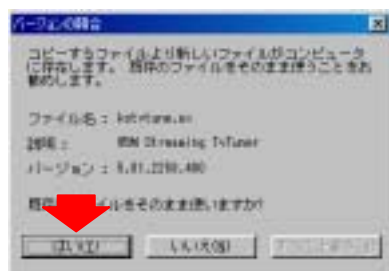


3. 次のダイアログでは、ドライバのある位置(フォルダ)を指定します。[検索場所の指定]をチェックし、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)]へのチェックは外しておきます。
4. [検索場所を指定]の下にドロップダウンリストボックスに、D:¥ (CD-ROMがD:の場合)と入力します。

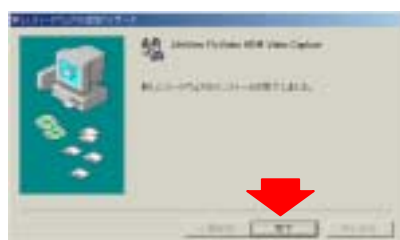


5. デバイスドライバファイルの検索が開始されます。インストールCDがCD-ROM ドライブに入っていることを確認してください。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



6. 左のようなメッセージが、インストール中に画面の左上に数回表示されることがあります。表示された場合は「はい」をクリックしてください。



7. LifeView FlyVideo WDM Video Capture ドライバが、お使いのWindows 98SEまたはMe システムに正常にインストールされました。

[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。

B. LifeView FlyVideo WDM TV Tuner ドライバの設定



1. “不明なデバイス”は、このデバイス用のソフトウェアが初めてインストールされることを意味します。[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが、左図のように起動されます。
2. 手順A.と同じ手順でドライバのインストールを行います。
3. すべての手順が順調に完了すると、LifeView FlyVideo WDM TvTunerドライバが、お使いのWindows システムに正常にインストールされます。

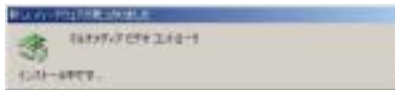
[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。



2.2 Windows 2000へのインストール

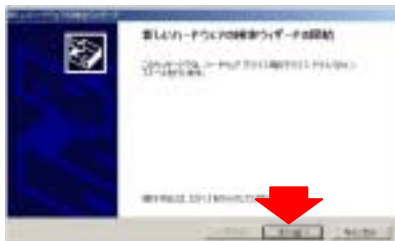
注: インストールは、必ず「**管理者 (Administrator) 権限**」のアカウントで行ってください。

A. LifeView FlyVideo WDM Video Captureドライバの設定



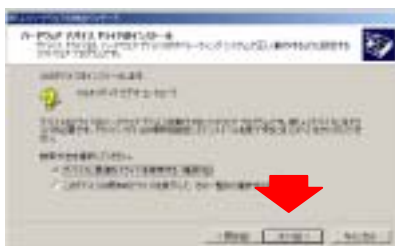
1. お使いのシステムを起動すると、Windows 2000 は新しいハードウェアとして“マルチメディア ビデオ コントローラ”を検出し、左図のように表示します。
2. Windows 2000が新しい ハードウェア を検出すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されます。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



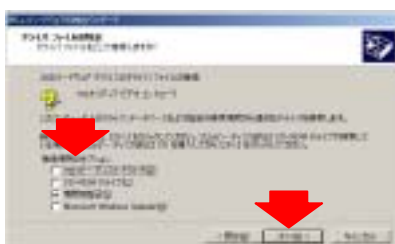
3. 本製品のインストール CD-ROMをCD-ROM ドライブにセットし、[デバイスに最適なドライバを指定する]を選択します。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



4. 次のダイアログでは、ドライバのある位置(フォルダ)を指定します。[位置を指定]だけをチェックし、ほかの項目へのチェックは外しておきます。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



第2章 ドライバ・ユーティリティのインストール



5. インストールCDがCD-ROM ドライブに入っていることを確認してください。

[参照]をクリックします。



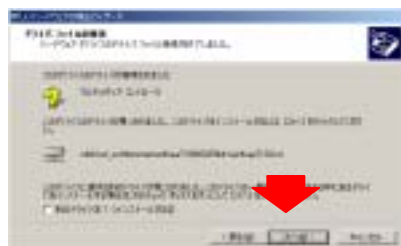
6. 次のダイアログはドライバの位置を指定するためのものです。D:¥ (CD-ROMがD:の場合)と指定してください。

[開く]をクリックします。



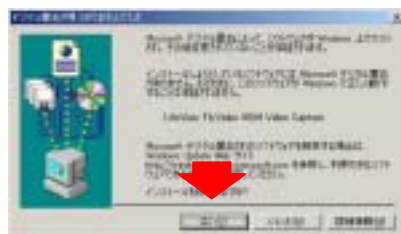
7. 正しいパスを指定したら、OKをクリックします。

[OK]をクリックして次に進みます。



8. 左下の「別のドライバを…」にはチェックしないでください。

[次へ>]をクリックして次に進みます。



9. ダイアログの内容を確認し、インストールを続けます。

[はい] をクリックして次に進みます。



10. LifeView FlyVideo WDM Video Capture ドライバが、お使いのWindows 2000 システムに正常にインストールされました。

[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。

B. LifeView FlyVideo WDM TV Tuner ドライバの設定



1. “不明(なデバイス)” は、このデバイス用のソフトウェアが初めてインストールされることを意味します。Windows 2000の[新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード]が左図のように起動されます。
2. 手順A.と同じ手順でドライバのインストールを行います。



- すべての手順が順調に完了すると、PrimeTV のStudio WDM TVTunerドライバが、お使いのWindows 2000 システムに正常にインストールされます。

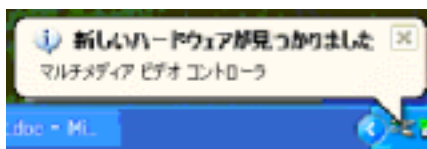
[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。

2.3 Windows XPへのインストール

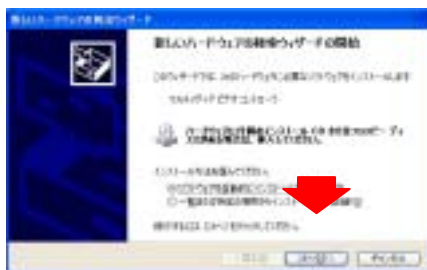
注: Windows XP Professionalでは、インストールは必ず「**管理者 (Administrator) 権限**」のアカウントで行ってください。

インターネットに常時接続されているWindows XPでは、PrimeTV 7133のハードウェア取り付け後最初の起動時に、ドライバがインターネット (MicrosoftのWindows Updateサーバー) 経由で自動的にインストールされます。製品添付のインストールCDからドライバをインストールする場合、あるいはインターネットに接続していない場合は、インターネット接続を切った状態で、下記の手順でインストールを行ってください。

A. LifeView FlyVideo WDM Video Captureドライバの設定

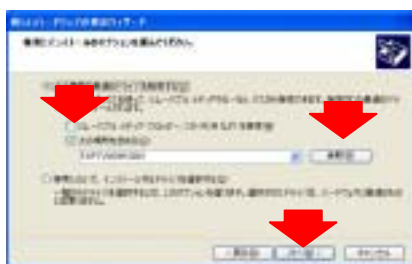


- お使いのシステムを起動すると、Windows XP は新しいハードウェアとして“マルチメディア ビデオ コントローラ”を検出し、左図のように表示します。



- Windows XPが新しい ハードウェア を検出すると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されます。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



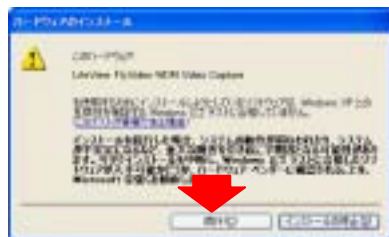
- 本製品のインストール CD-ROMをCD-ROM ドライブにセットし、[次の場所を含める]をチェックし、

[参照]をクリックします。



- 次のダイアログはドライバの位置を指定するためのものです。D: ¥ (CD-ROMがD:の場合)と指定してください。

[開く]をクリックします。



5. 左のようなダイアログボックスが表示されます。

[続行]をクリックして次に進みます。

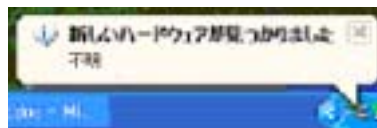
※ 今後提供されるドライバでは、このダイアログは表示されない場合もあります。



6. LifeView FlyVideo WDM Video Capture ドライバが、お使いのWindows XPシステムに正常にインストールされました。

[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。

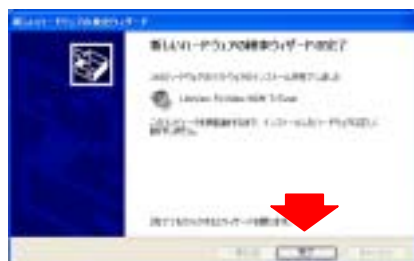
B. LifeView FlyVideo WDM TV Tuner ドライバの設定



1. “不明(なデバイス)” は、このデバイス用のソフトウェアが初めてインストールされることを意味します。Windows XPの[新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード]が左図のように起動されます。

2. 手順A.と同じ手順でドライバのインストールを行います。

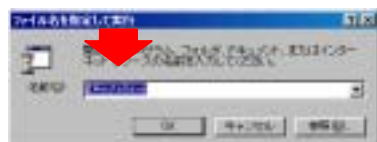
3. すべての手順が順調に完了すると、LifeView FlyVideo WDM TVTunerドライバが、お使いのWindows XP システムに正常にインストールされます。



[完了]をクリックして、ドライバのインストールを完了してください。

2.4 標準ユーティリティソフトのインストール

ドライバが正しくインストールできたら、次にテレビビューワーLifeView FlyVideoなどのユーティリティソフトのインストールを行います。どのWindowsでも、手順は同じです。



1. [スタート]ボタンの[ファイル名を指定して実行]をクリックし、インストールを開始します。[名前:]にはインストールプログラムのあるCD-ROMドライブの位置をD:¥install.exe (CD-ROMドライブがD:の場合)のように入力します。

[OK]をクリックすると次に進みます。



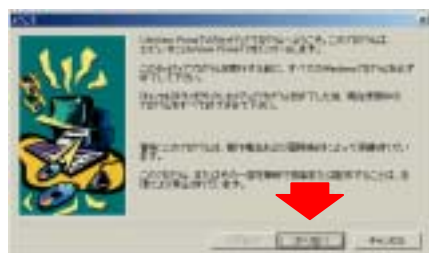
- Windows XP以外のWindowsで、かつ、すでにDirectX 8.1以上がインストールされていることがはっきりしている場合を除き、DirectXと呼ばれるWindowsのアップデート用モジュールのインストールが必要です。「DirectXのインストール」をクリックします。DirectXのインストールが必要ない場合は、3に進みます。

最後にWindowsの再起動を求められます。



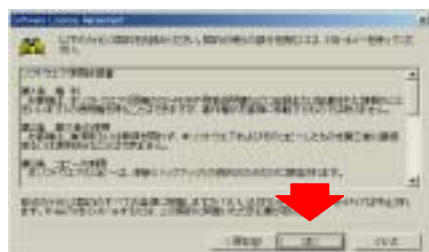
- 2.でDirectXをインストールした場合は、1.の手順を繰り返してインストールメニューを再度起動します。標準のユーティリティソフトウェアをインストールするには、「標準ユーティリティのインストール」をクリックします。

“標準ユーティリティのインストール”をクリックすると、次に進みます。



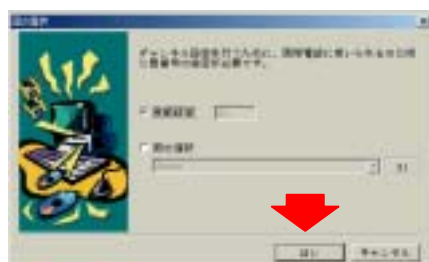
- 「ようこそ」ダイアログが表示されます。内容を確認して次に進んでください。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



- “ソフトウェア使用許諾書”ダイアログが表示されます。内容を確認の上、同意するなら[はい]をクリックします。

[はい]をクリックして、次に進みます。



- “国を選択”では、自動選択(推奨)または地域を任意に選択することができます。通常は前者にしておくことで、日本に設定されます。

[はい]をクリックすると、次に進みます。



- システムを再起動するよう促されます。

[完了]をクリックして、お使いのシステムを再起動してください。

LifeView FlyVideo

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス G:\Documents and Settings\NII Users\Nスタート

LifeView FlyVideo

オブジェクトを選択すると、その説明が表示されます。

関連項目:
[マイク接続](#)
[マイクテスト](#)
[マイクエコー](#)

280 KB

映像がモザイク化やフリーズに陥る、カクツキなどに表示されていますか？

最大720x576ドットまでの解像度が利用できます。

チャンネルを再生する

テレビ信号の来源を選んで下さい

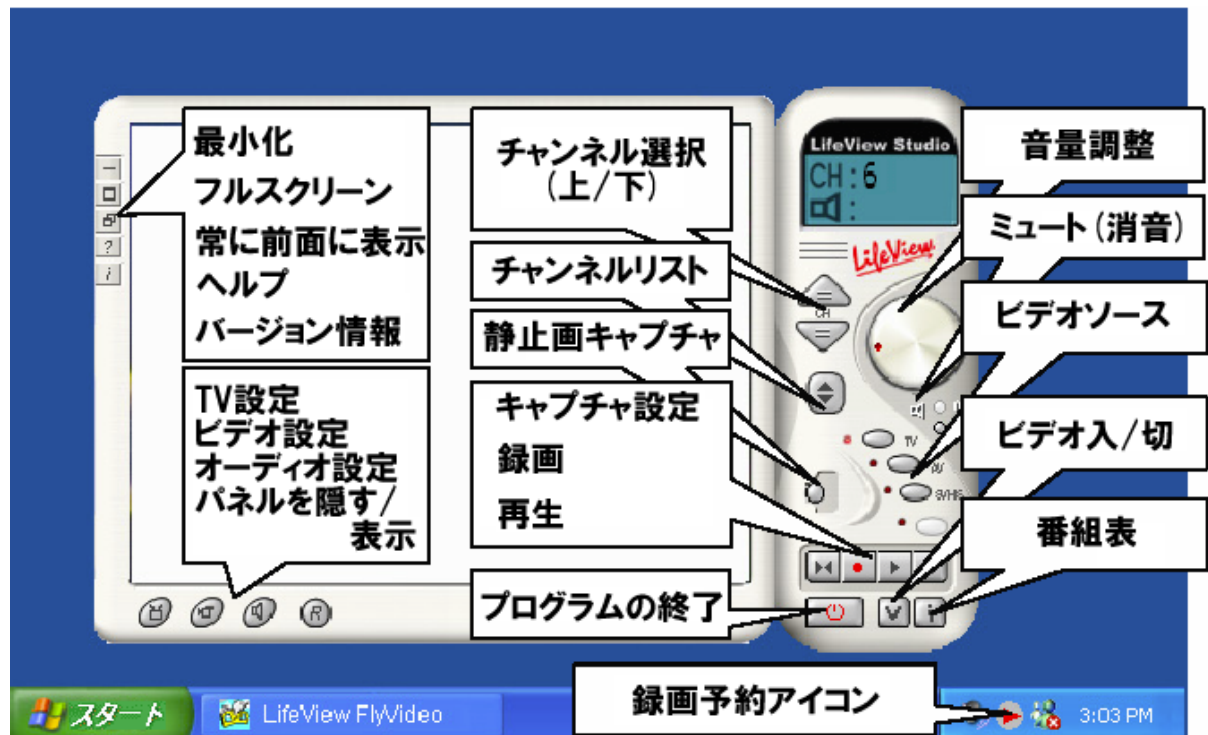
☒ 入力

☐ ケーブル

キャンセル スキャン

14

3.2 各部の名称と使い方



3.2.1 TV 設定

地域:

自動設定、またはJapan(日本)を選択してください。

チャンネルスキャンモード:

[自動選局]ボタンをクリックすると、自動的にチャンネルを検索します。

[フルスキャン]を選択すると、チャンネル単位ではなく、周波数単位(0.25MHzステップ)でチャンネル検索を行います。

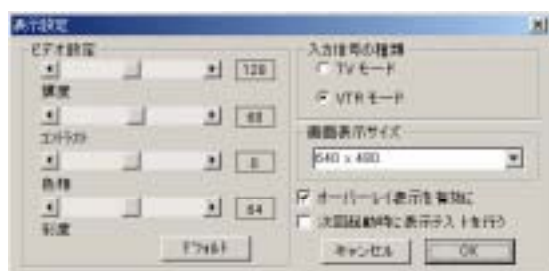
チャンネル:

テレビチャンネルを選択します。チャンネル番号を入力して[設定]をクリックすると、選局されます。

音声多重設定

音声多重番組のうち二重音声番組(2ヶ国語番組など)の音声を、主音声、副音声、ステレオ音声から選択できます。

ステレオ放送を視聴する場合は、「ステレオ音声」を選択してください。なお、番組が音声多重放送でない場合は、「主音声」のみ選択可能です。

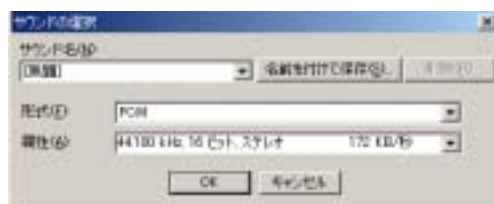


3.2.2 ビデオ設定

輝度(明るさ)、コントラスト(明暗)、色合い、彩度(鮮やかさ)を設定できます。

入力信号は入力/キャプチャするビデオソースに応じて選択してください。

画面表示サイズは、テレビ画面ウィンドウの表示サイズを指定します。



3.2.3 オーディオフォーマット

AVIファイルにキャプチャする際の、オーディオのサンプリングレイト(kHzで表示)や量子化ビット数(8または16ビット)、チャンネル数(モノラルまたはステレオ)といった属性を選択します。



3.2.4 チャンネルリスト機能

1. チャンネルに名前を付ける

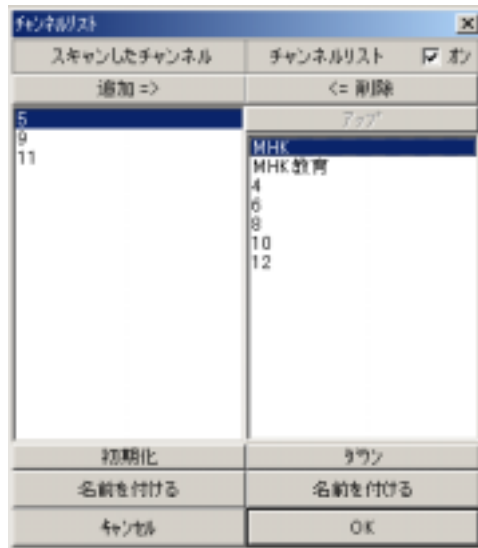
まず、自動選局/スキャン (3.2.1参照) を実行し、受信できるチャンネルを記憶させておく必要があります。

チャンネル番号を選択して[名前を付ける]をクリックしてください。目的の名前を入力したら [設定]ボタンをクリックしてください。



2. お気に入りチャンネルの選択

普段よく見るチャンネルだけを選局できるようにする機能です。 ☒ チェックボックスをチェックします。



3. 左側から目的のチャンネルをクリックして右側のリストに登録し、最後に[OK]をクリックすると、お気に入りのチャンネルだけが選局できるようになります。



3.2.5 番組表表示

Webブラウザを起動し、テレビ番組表サイトを表示します。
番組予約を行う場合に便利です。

- ※ 表示されたテレビ番組表サイトから、直接番組予約を行うことはできません。

3.3 ビデオキャプチャの手順



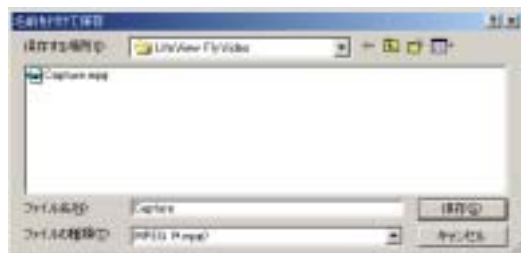
1. キャプチャパラメータの設定

 ボタンで、映像規格(キャプチャ形式)、映像サイズ(キャプチャサイズ)を設定します。

ここで設定される**映像サイズ**は、キャプチャされる映像ファイルの表示サイズです。320×240、352×240、640×480ドットなどが選択可能です。

MPEGキャプチャを行う場合、ビットレートが設定できます。ビットレートとは1秒間あたりのデータ容量を意味する数値(単位:Kbit/秒)で、この値を大きく設定するほど画質が向上しますが、ファイルサイズも大きくなります。

ビデオCDのソースとしてキャプチャする場合は、映像サイズで「352×240 (NTSC VCD)」を選択してください。この設定では、ビデオCD対応のCDライティングソフトでライティングできる状態でキャプチャされます。



2. フルモーション キャプチャ

[フルモーションキャプチャ] ボタン  をクリックすると、左図のようなウィンドウが開きます。そのままの名前で保存するには、[保存] ボタンをクリックします。キャプチャを停止するには、キーボードから“Esc” キーを押してください。



[ファイルの種類] では“MPEG (*.mpg)” と“AVI (*.avi)” が選択可能です。キャプチャはここで指定した形式で行われ、“MPEG”を選択した場合はMPEG-1形式でのリアルタイムMPEGキャプチャが可能となります。

3. AVI ファイルの再生



 をクリックし、先にフルモーション キャプチャで保存したファイルを指定してください。



 をクリックすると、再生を開始します。

3.4 予約録画の手順

※ honestech TVRの番組予約機能（6.2.3～6.2.4章参照）と予約時間が重ならないようにご注意ください。



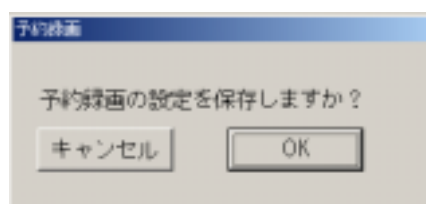
1. 予約内容の設定

タスクバーの右端にある  ボタンをダブルクリックすると、左のようなダイアログボックスが開きます。まずは「タスク」タブでビデオソース（入力端子）や入力（アンテナ/CATV）、映像サイズ（キャプチャされる動画の画面サイズ）、ファイル形式（MPEG/AVI）、テレビチャンネル（テレビの場合）、音声多重設定（テレビの場合）を設定します。

次に「録画設定」タブで、日付と時刻の設定を行います。録画間隔は「毎日」「毎週」「1回のみ」から選択できます。



予約内容の設定が完了したら、「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じます。保存しない場合は「キャンセル」をクリックしてください。



2. 確認

予約録画のダイアログボックスを閉じると、左のような確認のダイアログボックスが開きます。「OK」をクリックすると予約内容が保存され、指定した時刻にプログラムが起動して、録画が開始されます。

※ パソコンの電源は入れたままにしておいてください。

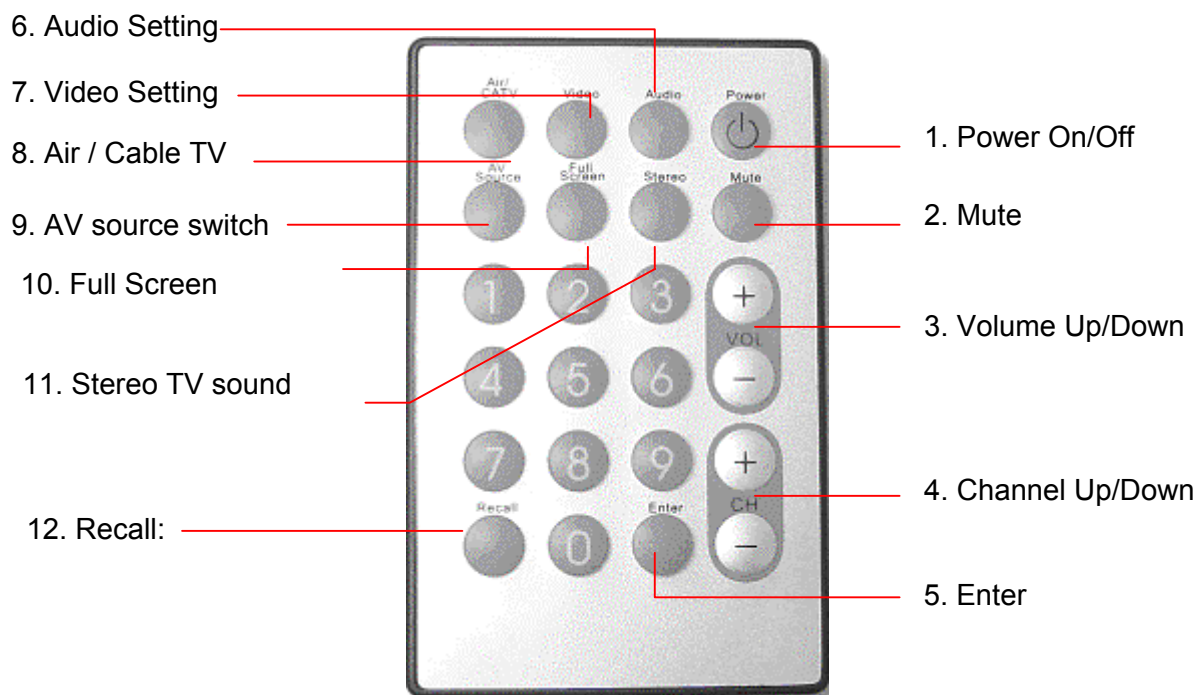
第4章 短縮キー一覧

PrimeTV 7133のLifeView FlyVideoでは、次のような短縮キー(ショートカットキー)を提供しており、主な機能がキーボードからも操作できます。ただし、一部の機能は全画面表示時にはお使いいただけません。

キーボードのキー	対応する機能
<i>F1</i>	ヘルプ
<i>M</i>	ミュート(消音)切り替え
<i>C</i>	アンテナ/ケーブルの切り替え
<i>BackSpace</i>	直前に見ていたチャンネルの呼び出し
<i>P</i>	チャンネルの追加/削除
<i>B</i>	クリップボードに静止画コピー
<i>PageUp</i>	前のAVソース
<i>PageDown</i>	次のAVソース
右矢印 (→)	次のチャンネル
左矢印 (←)	前のチャンネル
上矢印 (↑)	音量増
下矢印 (↓)	音量減
<i>Alt + V</i>	ビデオ 設定
<i>Alt + A</i>	オーディオ 設定
<i>Alt + T</i>	テレビ設定
<i>Alt + F4</i>	プログラムの終了
<i>Alt + F5</i>	プログラムの起動

第5章 リモコン

※このリモコンは、LifeView FlyVideo, honestech TVRでのみお使いいただけます。



1. **Power On/Off:** LifeView FlyVideo または honestech TVR を終了します。
2. **Mute:** 一時的に消音し、もう一度押すと消音を解除します。
3. **Volume Up/Down:** 音量を増減します。
4. **Channel Up/Down:** チャンネル選択を取り消します。
5. **Enter:** チャンネル選択を送信します。
6. **Audio:** オーディオ設定ダイアログボックスを表示します。
※LifeView FlyVideoのウィンドウ表示時にのみ有効です。
7. **Video:** ビデオ設定ダイアログボックスを表示します。
※LifeView FlyVideoのウィンドウ表示時にのみ有効です。
8. **Air/CATV:** テレビのアンテナ入力と CATV 入力を切り替えます。
9. **AV Source:** テレビと AV、S ビデオ入力のソースを切り替えます。
※ウィンドウ表示時にのみ有効です。
10. **Full Screen:** 全画面とウィンドウ表示との間を切り替えます。
11. **Stereo:** 音声多重放送の主(メイン)/副(サブ)/主・副(メイン+サブ)音声を切り替えます。
12. **Recall:** 直前に見ていたチャンネルを呼び出します。
数字キー: チャンネル番号を直接入力して、選局できます。

第6章 付属ソフトの使い方

6.1 付属ソフトについて

本製品には、標準ソフトウェアに加え、次の2種類のバンドルソフトを添付しています。

honestech TVR : テレビ視聴およびMPEG/AVI (非圧縮) によるビデオキャプチャ、インターネット連動を含む番組予約機能を提供するソフトウェア

honestech MPEG Editor 4.0 : MPEG/AVIビデオファイルの編集、別の形式への変換出力が可能なソフトウェア

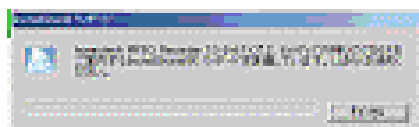
6.1.1 インストール手順

honestech TVR、MPEG Editorともに、インストール手順は共通です。

注: Windows 2000 ProfessionalおよびWindows XP Professionalでのインストールは、必ず**管理者 (Administrator) 権限のアカウント**で行ってください。



1. PrimeTV 7133のインストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。左のようなメニューが起動しない場合は、CD-ROMのルートから INSTALL.EXE を起動します。
2. メニューからインストールするソフトウェア名(honestech TVRまたはhonestech MPEG Editor)をクリックします。



3. 右のような画像が画面上に現れ、honestech ソフトウェアのインストールが開始されます。



4. 左のようなウィンドウが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。



5. 右のように使用許諾書が表示されたら、お読みになってから[はい(Y)]をクリックしてください。



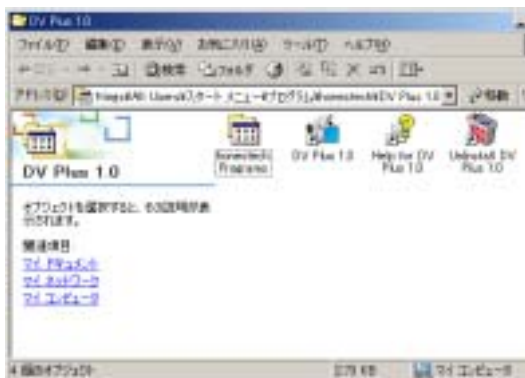
6. honestechソフトをインストールするフォルダを選択してください。インストールするフォルダは、プログラムによって定義されているフォルダをそのまま選択されることをお勧めします。別のフォルダにインストールするには、[選択....]ボタンをクリックし、目的の場所を選択してから[次へ>]をクリックしてください。



7. スタートメニューに表示されるフォルダの名前を指定した後、ファイルのコピーを開始するには[次へ>]ボタンをクリックしてください。



8. ファイルがすべてコピーされ終わると、下のようインストールが終了したことを知らせるダイアログボックスが表示されます。インストールを完了するには[終了]ボタンをクリックしてください。



9. 以上でhonestechソフトのインストールが完了しました。プログラムは[スタート]メニュー – [プログラム] – [honestech]の下に、それぞれ登録されます。

- ※ アンインストールを行うには、[スタート]メニュー – [プログラム] – [honestech] – [honestech TVR (またはMPEG Editor 4.0)] – [Uninstall honestech TVR (またはMPEG Editor 4.0)]を実行してください。



10. 最初の起動時にCD Keyおよびシリアル番号の入力を求めるメッセージが表示されます。インストールCDの入っている袋に記載のシリアル番号を入力してください。

6.2 honestech TVR

honestech TVR(オネステック・ティーブイアール)は、PrimeTV 7133との組み合わせにより、高圧縮率のMPEG-1またはMPEG-2形式による録画を可能にするソフトです。

ほとんどのビデオキャプチャ(録画)ソフトで対応しているAVIファイルでのビデオキャプチャの場合、たとえば1時間の映像を記録するのに何GB(ギガバイト)ものディスク容量を必要としますが、honestech TVRではMPEG形式を用いてファイル圧縮を行うため、平均1/10以下という少ないファイル容量での録画が可能となります。

その他、honestech TVRは下記のような特徴を備えています。

- ビデオキャプチャ機器(テレビ受信機能付きを含む)から映像(動画)と音声を記録(録画)できます。
- 見逃した画面を遡って見られる、タイムシフト(時間差再生)に対応しています。
- インターネット電子番組表(iEPG™)、または手動による番組予約に対応しています。
- ビデオCD、Super VideoCD、DVD互換MPEGファイルへの直接録画が可能です。
- 録画済みファイルをサムネイル(縮小イメージ)で表示するファイル一覧トレイにより、再生時に目的のファイルを簡単に探し出せます。

6.2.1 動作条件

honestech TVRをお使いになるには、お使いのコンピュータが少なくとも下記のようなシステム条件を備えているかどうか、ご確認ください。

⇒ CPU性能の目安 ※以下の数値は、今後の改良に伴い変更となる場合があります。

- MPEG-1録画時(352×240ドット) - Pentium II 400MHz以上、Celeron 450MHz以上、AMD Athlon/Duron
- MPEG-2録画時(640×240ドット) - Pentium III/Celeron 800MHz以上、またはAMD Athlon/Duron 1GHz以上
- DVD互換MPEG-2録画時(720×480ドット) - Pentium 4 1.7GHz以上、またはAMD Athlon XP 2000+以上
- 時間差再生(タイムシフト)機能 - Pentium III/Celeron 800MHz以上、またはAMD Athlon/Duron 1GHz以上

⇒ PrimeTV 7133でサポートされているオペレーティングシステム

⇒ PrimeTV 7133以外のビデオキャプチャカードがインストールされていないこと

- ※ LifeView Studio、その他のテレビアプリケーションと同時に起動することはできません。これらのソフトは、honestech TVRをいったん終了させてからお使いください。
- ※ 録画(キャプチャ)可能なファイルサイズは、FAT32ファイルシステムを用いる場合、最大4GB(ギガバイト)までとなります。これは、FAT32ファイルシステム上で取り扱える(切り取り、貼り付けなどが可能な)最大のファイルサイズが4GBとなっているためです。4GBを超える容量の録画を行うには、Windows 2000またはXP上において、NTFSファイルシステムでフォーマットされたドライブ(パーティション)をお使いください。
- ※ 他社のテレビ録画ソフトのインストール後にhonestech TVRで不具合がみられる場合は、そのソフトをアンインストールしてください。

6.2.2 各部の構成と名称

画面の構成



honestech TVRの画面は次の3つの部分で構成されています。

- 表示ウィンドウ
- 情報ウィンドウ
- ファイル管理ウィンドウ

表示ウィンドウ

テレビ画面など、選択中の入力ソースからのビデオ入力画面、およびチャンネル番号・音声モードなどの情報を表示します。



画面は縁をドラッグする(左ボタンをクリックしたまま動かす)ことでサイズを調整でき、マウスの右ボタンをクリックすると、**固定画面サイズ**(160×120, 320×240, 640×480ドット)への切り替えや**縦横比の変更**ができます。縦横比の変更機能は、ドラッグで固定サイズ以外のサイズに調整した際、一般的な縦横比(4:3)に戻すのに有効です。

また、「**常に手前に表示**」を設定すると、ほかのソフトのウィンドウが重なってもTVRを常時手前に表示します。起動直後には、現在の音声モード（ス

テレオ、主音声など）を画面右上に表示します。この表示はTVRの設定を表すもので、実際の放送が音声多重放送であるかどうかを示すものではありません。チャンネルを切り替えると、チャンネル番号または放送局名（iEPG地域設定を行っている場合）が表示されます。

情報ウィンドウ

入力ソース (TV, Cable, Composite, S-Video)、音量、スピーカーの状態、録画時間、録画中のファイルのサイズ、および現在の時刻を表示します。



ファイル一覧トレイ

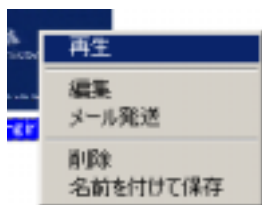
録画されたファイルの一覧を表示し、下記のような機能が実行できます。



左のボタンをクリックすると、下図のように3つの拡張機能ボタンを備えた、ファイル一覧ウィンドウが開きます。



1. [編集] ボタン：選択されたファイルを編集します。
2. [メール添付] ボタン：録画されたファイルを、MAPI対応メールプログラムを通じて、Eメールの添付ファイルとして送信できます。
3. [ファイル一覧形式] ボタン：録画されたファイルをサムネイル(動画の縮小イメージ)/詳細一覧/ファイル名一覧の形式で表示し、ファイルを選択することができます。



ファイル名またはサムネイルをマウスの右ボタンでクリックすると、左図のようなメニューが開き、選択中のファイルの再生・編集・メール添付・削除・名前を付けて(別名で別のフォルダに)保存ができます。

なお、本トレイの簡易編集機能はMPEG-1ファイルにのみ対応しています。MPEG-2ファイルの編集には、honestech MPEG Editor を

お使いください。

honestech MPEG Editorは、honestech TVRのファイル一覧トレイからのドラッグ&ドロップにも対応していますが、MPEG Editorで編集操作を開始する前に、TVRは終了させておいてください。

[チャンネル] ボタン

テレビ(地上波)またはCATVのチャンネルを切り替えます。



: 上のチャンネルに切り替えます。



: 下のチャンネルに切り替えます。



: 現在選局中のチャンネルをチャンネルリストに追加します。



: 現在選局中のチャンネルをチャンネルリストから削除します。



: 受信可能なチャンネルを自動的に探索し、チャンネルリストに追加します。

[タイムシフト] ボタン

時間差再生(タイムシフト)を行います。この機能を実行することで、見逃した場面やもう一度見たい場面に遡っての再生が可能です。テレビ視聴中に席を短時間離れる場合に便利です。

1. 通常表示状態(ファイル再生状態でない)であることを確認してください。
2.  (タイムシフト)ボタンをクリックします。
3. 表示ウィンドウにバッファ表示が現れます。
4. 時間差再生モードに切り替わります。
5. [再生]関連ボタン(後述)により、先頭/末尾への復帰、一時停止を行うことができます。
6. 通常表示やファイル再生モードに戻るには、 をクリックしてください。



jul13_103826.mpg

時間差再生を終了すると、ファイル一覧トレイが開き、時間差再生中の放映内容が、時間差再生開始時間をファイル名とするMPEG-1形式のファイル(例: jul13_103826.mpg=7月13日の10時38分26秒)として登録されます。後でファイルを残す必要がなければ、[オプション設定]の録画設定で「タイムシフト中止と同時にファイルを削除」をチェックしてください。

※ 時間差再生機能にはハードウェアの能力が求められます。正常に実行できない場合、時間差再生開始から10秒程度でタイムシフトが停止されます。

[再生] 関連ボタン

再生ボタンです。このボタンにより、ファイル一覧から選択された録画済みファイルを再生できます。



一時停止ボタンです。再生を一時停止します。



停止ボタンです。再生を中断し、再生モードを終了します。時間差再生中にもこのボタンを押すことで、時間差再生モードが終了します。テレビ・外部入力画面を見るためにソース表示に復帰するには、このボタンをクリックしてください。

なお、ファイル再生時には、再生完了後3秒程度で自動的にテレビモードに復帰します。



録画済みファイルの最初に戻ります。



録画済みファイルの最後に移動します。

**[GUI色の変更] ボタン **

クリックすると、GUIの色が変わります。

[音声多重] ボタン

2重音声放送の視聴中に、モノラル/ステレオ/主音声/副音声/主音声+副音声の再生を順に切り替えます。ここでの設定は録画時にも反映されます。

初回のクリック時には、現在の音声モードを画面に表示します。切り替えるには2回以上クリックしてください。

[静止画キャプチャ] ボタン

テレビまたは録画済みのMPEG-1、AVI動画ファイルの視聴中にこのボタンをクリックすると、クリックした場面で表示されている画面が、静止画(BMP形式)で保存されます。

保存された静止画は、録画済み動画ファイルと同様にファイル一覧トレイに表示され、BMP形式の静止画に関連づけられたアプリケーションを使って表示します。

[チャンネル巡回] ボタン

1つの画面を分割して、登録されているチャンネル順に、チャンネル番号とともに連続表示します。目的の画面をダブルクリックすると、分割を解除してそのチャンネルに切り替えます。

[iEPG] ボタン

Webブラウザを起動し、[オプション設定]の[その他]で指定したiEPGサイトに接続します。

[オプション設定] ボタン

テレビ設定

1. 種別: TV(地上波放送・アンテナ入力)とCATV(ケーブル放送)を選択し、それぞれについての設定を行います。

- 受信可能な最小・最大チャンネル番号は 3.に表示されます。
- 受信可能なチャンネルは 8.に表示されます。

2. 国別情報(チャンネル範囲)の指定

- 「自動選択」は自動的に国別情報を設定し、国別コードを右に表示します。
- 「国・地域を選択」を選択した場合は、Japanを選択します。

3. 受信可能な最小・最大チャンネルの番号が表示されます。

4. チャンネル設定

- 10キーボタンまたは  ボタンでチャンネル番号を指定します。
- チャンネル番号は3.に表示されている最小・最大チャンネルの範囲でのみ指定可能です。
- [入力] ボタンをクリックするとチャンネルが変わり、[追加]ボタンで受信中のチャンネルをチャンネルリストに追加できます。
- 「周波数微調整」で、選択中のチャンネルのファインチューニング(周波数をずらして正常に映るように調整すること)ができます。強電界などでチャンネルごとの干渉が発生する場合は、この機能により調整が可能です。



5. 受信中のチャンネルをチャンネルリストに追加します。
6. 8.で選択中のチャンネル番号を、チャンネルリストから削除します。
7. 受信可能なチャンネルを自動的に探索し、チャンネルリストに登録します。
8. チャンネルリストに登録されているチャンネルを表示します。
9. 音声多重放送の音声を選択します。

ビデオ設定

1. 2. ~ 5. の設定内容を初期値に戻します。
2. ~ 5. 明るさ、コントラスト、色合い、色の鮮やかさを調整します。
6. ビデオ標準方式（テレビ放送の方式）を選択します。必ずNTSCを選択してください。
7. ビデオキャプチャ機器のドライバを選択します。
8. オーディオ（サウンドカード）のミキサーを選択します。
再生ミキサー、録音ミキサーは、PrimeTV 7133が接続されている端子名を選択してください。通常は「Line In」「Line」または「ライン入力」「ライン」などです。音量はサウンドカードのミキサー（ボリュームコントロール）で適宜調整してください。



録画設定

1. プロファイルの選択: MPEG-1/2、MPEG-1ビデオCD互換、MPEG-2 DVD互換形式での録画、AVIの各形式を選択できます。
 - MPEG-1 または MPEG-2 を選択した場合、2 から 5 までの設定を必要に応じて行うことができます。
 - VCD-NTSC または DVD-NTSC を選択すると、2 から 5 までの設定項目は既定の内容に固定されます。
 - AVI形式は29.97フレーム/秒の非圧縮形式にのみ対応しています。



2. 画面サイズの設定: 下記のような録画面解像度が選択可能です。

- MPEG-1: 320×240, 352×240, 352×288ドット
- MPEG-2: 320×240, 352×240, 640×240, 640×480ドット

なお、MPEG-2で640×240ドットを選択しても、再生時には自動的に縦方向を2倍に拡大し、640×480ドット相当の画面サイズで表示されます。ただし、640×240ドット録画したファイルを他のPCで再生するには、honestech TVRがインストールされている必要があります。CPU性能に余裕のないパソコンでは、フレーム落ちは640×240ドットのほうが少なくなりますので、640×240ドットでの録画をお勧めします。

VCD-NTSC、DVD-NTSCを選択した場合、解像度・フレームレートとも固定されます。

3. フレームレートの設定: 23.97, 24.00, 25.00, 29.97, 30.00から選択可能です。
4. 画質の設定: 最高=Highest, 高=High, 標準=Normalから選択可能です。
この画質設定は5.のビットレート設定と連動しており、ビットレートを微調整し、画質をお使いのパソコンの性能に最適化することも可能です。
5. ビットレートの設定: 50 Kbps単位でビットレートを微調整可能です。最大10000Kbpsまでの設定が可能です。
6. エンコード速度: 高速=Fastest, 中速=Fast, 標準=Normalから選択可能です。
FastやNormalでは、Fastestに比べて画質が向上しますが、CPU性能も要求されます。
7. 1時間当たりのファイルサイズ
1時間の録画に必要なファイルサイズの目安を、MB(メガバイト)あたりで表示します。
8. CPU性能条件の表示
1.~6.までで設定された内容で録画を行うのに必要なCPUの性能(クロック速度)を表示します。ただし、ここで表示されるCPU速度はあくまで参考値であり、実際にはビデオカードやメモリ容量、ハードディスクの性能などにも左右されることがあります。
9. 選択されたプロファイルについての情報表示(画面サイズ、フレームレートなど)
10. 作業フォルダの選択: 一時ファイルの作成されるフォルダを指定します。空き容量に余裕のあるドライブを選択してください。

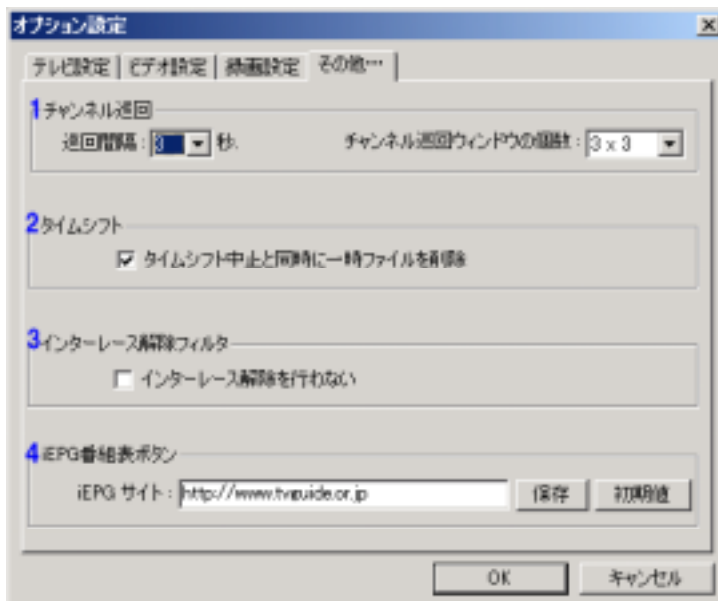
- [参照]ボタンをクリックすると、右のような画面が表示されます。

- 作業フォルダを選択したら[OK]ボタンをクリックします。



その他

1. チャンネル巡回: チャンネル巡回機能の巡回間隔(次のチャンネルに移るまでのタイミング)と、巡回ウィンドウの分割個数を設定します。
2. 時間差再生(タイムシフト)モード: 時間差再生終了と同時に、時間差再生中に記録された録画ファイルを削除するかどうかを選択します。チェックを外した状態では、ファイルが削除されずにファイル一覧トレイ内に登録されます。
3. インターレース解除フィルタ: インターレース解除機能を使用するかどうかを設定します。チェックを外した状態でインターレース解除フィルタが有効となり、横線ノイズのない見やすい映像になります。
4. iEPG番組表ボタン: iEPG番組表ボタンで表示されるiEPG対応WebサイトのURLを記述します。初期値は「インターネットTVガイド」のURLになっています。



[録画] ボタン

録画を開始したり、終了したりできます。

 ボタンをクリックすると録画が開始され、 をもう一度クリックすると、録画を終了します。

録画を終了すると、[ファイル一覧] ウィンドウが自動的に開き、録画したファイルを再生できる状態になります。

【簡単な録画手順】

1. [オプション]をクリックして動画形式/解像度、国別の設定などが正しく行われているかどうかを確認します(何か変更を加えない限り、先に設定された[オプション]の設定内容は保存されています)。
2. 左端の入力ソース切り替えボタンで、ソース(TV, CATV, Composite, S-Video)を選択します。
3. テレビ番組を録画する場合は、チャンネルボタンで目的のチャンネルに合わせます。
4.  をクリックすると録画が開始され、もう一度  をクリックすると録画を終了します。
5. 録画されたファイルは[ファイル一覧]トレイから選択して再生できます。

【ご注意】

録画中にほかのプログラムが実行されていると、フレーム落ちなどの原因になることがあります。録画を開始する前に、ほかのプログラムを閉じておくことをお勧めします。

[入力ソース] ボタン

それぞれの入力項目を直接クリックして、入力を切り替えることができます。



テレビ(地上波放送・アンテナ接続)



CATV(ケーブル放送)



コンポジットビデオ入力(RCAピンジャック)



Sビデオ入力(DINコネクタ)

[音量] ボタン

音量を調整します。



音量を上げます。



音量を下げます。



消音(ミュート)を行います。もう一度クリックすると消音を解除します。

[編集] ボタン



- このボタンをクリックして、選択中のファイルを編集できます。
- 編集ウィンドウが自動的に起動されます。
- MPEG-2およびAVIファイルの編集はサポートしません。honestech MPEG Editor(6.3章参照)をお使いください。

編集ウィンドウ各部の説明

1. 再生ボタン: (範囲が選択されている場合) 選択された範囲を再生します。
(範囲が選択されていない場合) ファイルを最初から最後まで再生します。
2. 一時停止ボタン: 再生を一時停止します。
3. 停止ボタン: 再生を中止します。
4. 前のフレームに移動します。
5. 次のフレームに移動します。
6. 範囲の始点を設定します。
7. 範囲の終点を設定します。
8. 選択中の範囲を削除します。
9. 選択中の範囲を、新しいファイルに保存します。



[メール添付] ボタン



選択されたファイルを、E-mailプログラム
のメール作成ウィンドウに
自動的に添付します。

このボタンをクリックするとE-mail
プログラムが自動的に起動され、選
択されたファイルが添付されます。

この機能を用いるには、MAPI(Windows Messaging Application Program Interface)に対応したE-mailプログラムが組み込まれ、かつメール送信に必要な各種の設定が完了している必要があります。お使いのE-mailプログラム側の設定方法については、それぞれのE-mailプログラムの添付文書などをご参照ください。

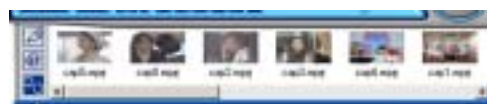
なお、大容量の動画ファイルをメールに添付して送信する際には、必ず事前に、相手の受信意思を確認しておいてください。また、インターネットプロバイダーによっては、1通あたりのファイルサイズに上限が設定されていることもありますので、事前にご確認ください。

[ファイル一覧形式] ボタン



ファイル一覧のウィンドウ表示形式
を切り替えられます。表示形式は3
種類が用意されており、クリックす
ることで連続的に切り替わります。

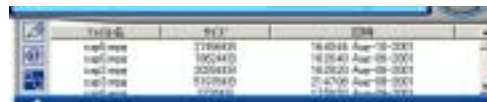
1. プレビュー(縮小画面)とファイル名表示



2. ファイル名のみ表示



3. ファイル名、ファイルサイズと録画日時の表示



6.2.3 iEPGを利用した録画/視聴予約の手順

honestech TVRは、iEPG™(インターネット電子番組表)を用いた番組予約(録画または視聴)をサポートしています。現在、iEPG対応のテレビ番組表は下記のサイトで提供されており、本製品のiEPG機能はすべてのiEPG対応番組表Webサイトで利用可能です。

【iEPGサイト】

インターネットTVガイド (株式会社東京ニュース通信社提供)

<http://www.tvguide.or.jp/>

ONTV JAPAN (株式会社ISAO提供)

<http://www.ontvjapan.com/>

テレビ王国 (株式会社ソニーコミュニケーションネットワーク提供)

<http://www.so-net.ne.jp/tv/>

goo (株式会社エヌ・ティ・ティ・エックス提供)

<http://tv.goo.ne.jp/>

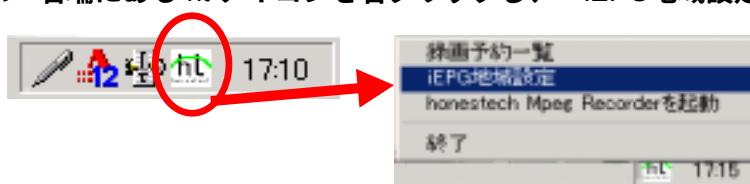
TVニッカンスポーツ・コム (株式会社日刊編集センター提供)

<http://tv.nikkanhc.co.jp/>

iEPG予約のための事前準備 – 地域設定の手順

iEPG予約を行うには、まずiEPG予約プログラムを、お住まいの地域に合わせて設定する必要があります。

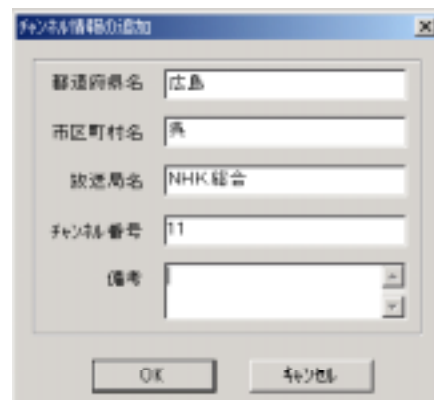
- 1) タスクバー右端にある ht アイコンを右クリックし、「iEPG地域設定」を選択します。



- 2) 右のような画面が開きます。お住まいの都道府県と市区町村名を選択してください。
[放送地域]の右に2つのドロップダウンリストボックスがあり、左側が都道府県、右側が市区町村名です。
選択が完了したら[閉じる]をクリックします。



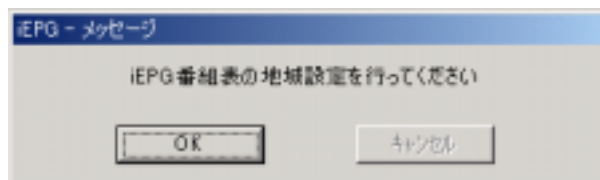
- 3) もし、お住まいの市町村名が含まれていなかったり、チャンネル番号が異なったりする場合は、同じ都道府県と市区町村名のいずれかを選択した状態で、都市名欄の右隣にある[追加]ボタンをクリックして放送局名と市町村名、チャンネル番号を追加することもできます。
新しい市区町村名を入力して[OK]をクリックすると、該当都道府県の下に市区町村名と、同一県内の放送局名が新しく登録されます。追加し終わったら[編集]ボタンをクリックし、チャンネル番号を正し



く設定してください。

- ※ 放送局名は、お住まいの都道府県の他の市町村にある局名と同じ表記にしてください。放送局名に欧文(NHKなど)が含まれている場合は、欧文は**全角文字(NHK)**で入力してください。半角文字(NHK)で入力すると、予約が正しく行われない場合があります。

- 4) 以上でiEPGによる録画予約が実行できる状態になります。この設定は、最初に一度行えば、TVRをアンインストールするまで保持されます。もし、この手順を実行せずにiEPG予約を実行した場合は、右のようなメッセージが表示されますので、まず地域設定を行ってください。

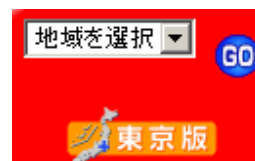


- ※ この地域設定を行うと、チャンネル切り替え時に画面にテレビ局名の表示が行われるようになります。

iEPG予約の手順

- 1) お使いのWebブラウザで、iEPG対応Webサイトにアクセスします。ここでは「インターネットTVガイド(<http://www.tvguide.or.jp/>)」を例にご紹介します。

- 2) 開いたWebページの左上から[地域選択はこちら]をクリックし、お住まいの都道府県を選択します。他のiEPGサイトでも、同様な選択機能が提供されています。



- 3) 番組表が表示されますので、「通常番組表」から「iEPG」をクリックします。



- 4) お住まいの都道府県のiEPG番組表が表示されます。ここで表示されたページをブラウザ側でブックマークしておくと、Webサイト側でシステムが変更されない限り、現在の時刻に合わせた番組表が表示されます。



- 5) 予約するには、番組名の下に[iEPG]ボタンをクリックします。

00 イタリア語会話

古岡美穂ほか

iEPG

- 6) [予約]ボタンをクリックすると、右のようなメッセージが表示されます。
[予約種別]で「録画する」を選択すると予約録画が行われ、「視聴のみ」を選ぶと録画は行われず、TVRを予約内容に従って起動し、テレビ番組の視聴ができる状態にします。
内容を確認の上、最後に[追加]をクリックすると、予約内容が登録されます。
- 7) 予約内容を確認、または変更・削除するには、タスクバー右端にある ht アイコンを右クリックし、「録画予約一覧」を選択します。
手順は次項(手動予約録画手順)をご覧ください。

録画予約 - 追加

入力ソース
☒ TV ☐ Cable ☐ コンソール ☐ センサ

チャンネル
 TV: 8
 Cable: 13
 音声多重: 主音声

録画間隔
☐ 毎週 ☐ 毎日 ☒ 1回

予約種別
☐ 視聴のみ ☒ 録画する

開始時刻
 2002 年 10 月 2 日
 水 曜日 21 時 10 分

録画時間
 1 時間 0 分 0 秒

予約終了後の動作: 何もしない

追加 キャンセル

6.2.4 手動による予約録画/視聴手順

直接、チャンネルや年月日を指定して番組予約を行うことも可能です。この機能はIEPG番組表で提供されていない数週間～数ヶ月先の予約や、同じ番組を毎日繰り返して録画予約する場合に便利です。
番組予約を手動で直接追加する手順は、下記の通りです。

- 1) タスクバーのhtアイコンをクリックし、メニューを開いて「録画予約一覧」を選択します。



- 2) 右のような画面が表示されます。番組予約を追加するには、まず[追加]ボタンをクリックします。



3) 下のような画面が開きますので、必要な情報を指定または選択します。

録画予約 - 追加

1 入力ソース
☒ TV ☐ Cable ☐ コンポジット ☐ Sビデオ

2 チャンネル
 TV: 1
 Cable: 13
 音声多重: 主音声

3 録画間隔
☐ 毎週 ☐ 毎日 ☒ 1回

4 予約種別
☐ 視聴のみ ☒ 録画する

5 開始時刻
 2002 年 10 月 3 日
 水 曜日 21 時 0 分

6 録画時間
 0 時間 54 分 0 秒

7 予約終了後の動作: このソフトを閉じる

追加 キャンセル

1. 入力ソース(テレビ/CATV/コンポジット入力/Sビデオ入力)の選択
2. チャンネルの選択(音声多重の音声設定を含む)
3. 録画(視聴)間隔(毎週/毎日/1回)の選択
4. 予約種別(視聴のみ/録画する)の選択
5. 録画(視聴)開始時刻の指定
6. 録画時間(長さ)の指定
7. 予約終了後の動作

- 何もしない (TVRを起動したまま) / このソフトを閉じる (TVRを終了) / PCの電源を切る (Windowsを終了する) から選択が可能です。

- 「PCの電源を切る」を選ぶと、「システムが動作していない状態では、番組予約はできません。」というメッセージが表示されますが、電源が切れている状態(休止状態、サスペンドを含む)では、番組予約は実行されないことを意味します。
- 4) [追加]をクリックすると、3)で指定した内容で番組予約が登録されます。予約をマウスで選択した状態で[編集]ボタンをクリックすると、登録された内容を後から修正することができます。

日時	開始	録画時間	入力ソース	チャンネル	音声多重	間隔	予約種別	予約終了後の動作
2002/10/03	15:29:00	01:01:00	テレビ	8	ステレオ	1回	表示	PCの電源を切る

【番組予約についてのご注意】

- ・ LifeView FlyVideoの録画予約機能と予約時間が重ならないようにしてください。
- ・ 予約した時間には、パソコンの電源を入れ、Windowsを起動しておいてください。電源が切れている状態(休止状態、サスペンドを含む)では、番組予約は実行されません。
- ・ 録画中にほかのプログラムが実行されていると、フレーム落ちなどの原因になります。予約の際、録画が開始される時間帯にほかのプログラムが実行されることのないよう、事前に確認しておく(実行中のほかのプログラムは閉じておく、他のソフトのタイマー起動は行わない)ことをお勧めします。
- ・ スポーツ中継などの番組延長により、予約した番組の放映時間が遅れた場合は、予約内容を手動手順で調整してください。

6.3 honestech MPEG Editor 4.0

honestech MPEG Editor(オネステック・エムペグ・エディター)は、MPEGファイルを直接編集できる画期的なソフトウェアです。

ドラッグ&ドロップ操作により、ファイルの追加と編集が簡単にできます。ドラッグ&ドロップはWindowsエクスプローラと[オリジナルのクリップ]の間だけでなく、[オリジナルのクリップ]と[編集中のクリップ]の間でも可能です。

クリップ順序は任意に変更でき、複数のクリップの前後を入れ替えて保存することができます。さらに、MPEGファイルにお好きな文字などを入力・表示させることができる**タイトル編集機能**や、別の音声ファイルからBGMなどの音声を取り込める**オーディオダビング機能**、映像に特殊な効果を付与できる**エフェクト機能**も備えています。

【ご注意】

- ・ 本エディタのMPEG高速結合モード(スマートレンダリング)編集においては、GOP (Group of Picture) 単位での編集を行っており、MPEGファイルの編集精度は、MPEGファイルの状態に応じて異なります。よって、編集過程で指定されたフレーム範囲と、編集完了後に作成されるファイルのフレーム範囲はやや異なる(指定した範囲より最大0.5秒=約15フレーム相当=長くなる)ことがあります。あらかじめご了承ください。
同様に、タイトルテキストやオーディオ、エフェクトの挿入範囲についても、編集中と完了後では、ずれが生じる場合があります。
- ・ AVIファイルのうち、Windowsに標準で備わっていないビデオ/オーディオCODEC(圧縮プログラム)で圧縮されたAVIファイルを編集する場合、その圧縮形式の再生に対応したCODECがインストールされている必要があります。

6.3.1 動作環境

honestech MPEG Editorをお使いになるには、少なくとも下記のような仕様を備えていることが前提となります。

- ⇒ PrimeTV 7133の動作条件を満たすCPU
- ⇒ PrimeTV 7133でサポートするオペレーティングシステム(OS)

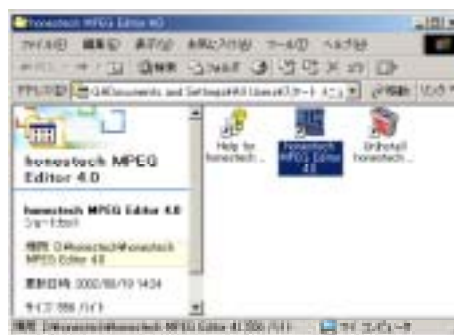
6.3.2 インストール手順

honestech MPEG Editorのインストール手順は、6.1章のhonestech TVRと同じです。

インストールを開始するには、PrimeTV 7133インストールCDのメニューから、honestech MPEG Editorを選択してください。

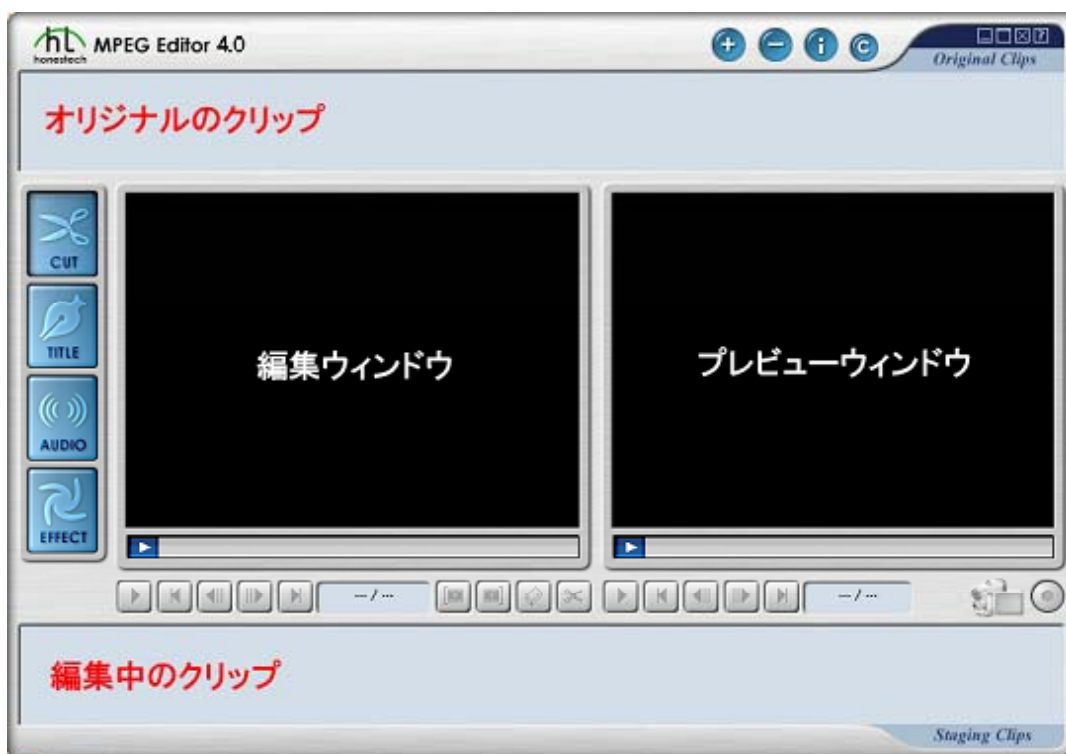
最後に[完了] ボタンを押すとすべてのインストールが完了し、honestech MPEG Editorがお使いいただけるようになります。

最初の起動時にCD Keyおよびシリアル番号の入力を求めるメッセージが表示されます。インストールCDに入っている袋に記載のシリアル番号を入力してください。

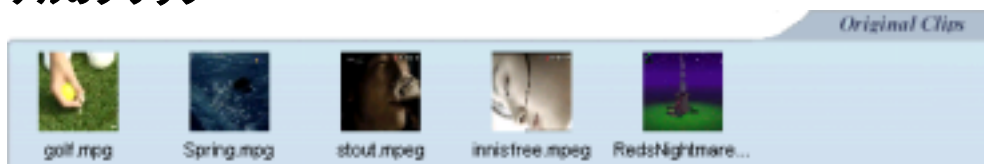


6.3.3 画面の構成

honestech MPEG Editorの起動直後の画面は、下のようになっています。



オリジナルのクリップ



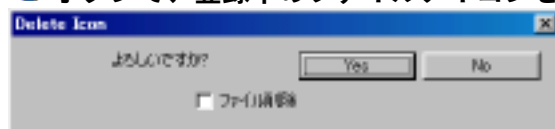
編集しようとする動画ファイルを登録し、管理する領域です。
ドラッグ&ドロップにより、ファイルを手軽に登録できます。
登録されたファイルはディスク(読み書き可能なデータ保存装置)から完全に削除したり、
順序を変更することもできます。

1. ファイルの登録

メインメニューの  ボタンをクリックし、動画ファイル(MPEG-1, MPEG-2, AVI)を登録します。

ドラッグ&ドロップにより登録することもできます。

 ボタンで、登録中のファイルアイコンを削除できます。



[ファイル削除]をチェックすると、ファイルアイコンとともに、ファイルそのものも削除されます。

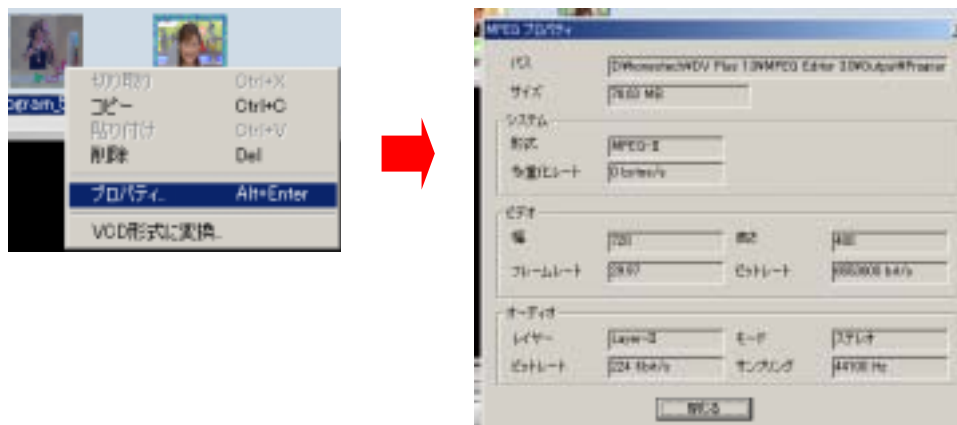
 ボタンにより、登録中のファイルの情報が表示されます。

2. ファイルの管理

登録されたファイルをダブルクリックすると、動画が再生されます(編集ウィンドウにドラッグ&ドロップしても同じ)。

マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが開き、次のような機能を実行できます。

コピー/削除/プロパティ(ファイル情報の表示) /VCD形式に変換



2つ以上のMPEGファイルの結合編集を行う場合、設定が同一かどうかを確認するには、上のように[プロパティ]を選択し、ファイルの設定情報を表示させてください。

- 「VCD形式に変換」は、MPEG-1/2ファイルをビデオCD互換MPEG-1ファイルに変換します。変換されたファイルはOriginal Clipsに登録されます。

3. DV機器への書き出し

登録されたファイルがDV-AVI形式の場合、前述2.のポップアップメニューの「VCD形式に変換」の代わりに「DV機器への書き出し」という項目が表示されます。DV機器がお使いのパソコンのIEEE1394端子(DV端子、i.LINK端子も同じ)に接続されている状態であれば、この項目を選択すると、右のような画面が開きます。

それぞれのボタンの名称と用途は下記の通りです。



[再生]: 映像の再生



[コマ戻し]: 映像を1コマ(フレーム)ずつ戻す



[早戻し]: 映像の早戻し



[早送り]: 映像の早送り



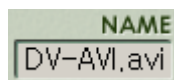
[停止]: 映像再生の停止



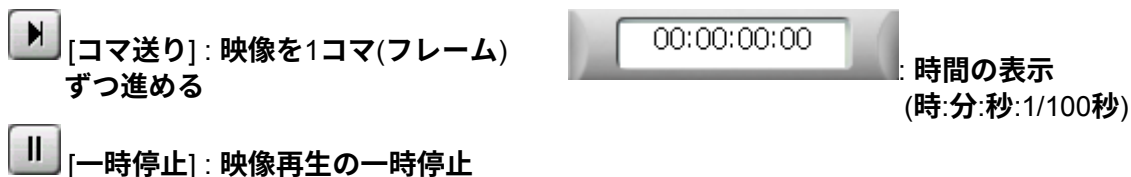
[録画]: DV機器に挿入されているテープへの書き戻し(保存)



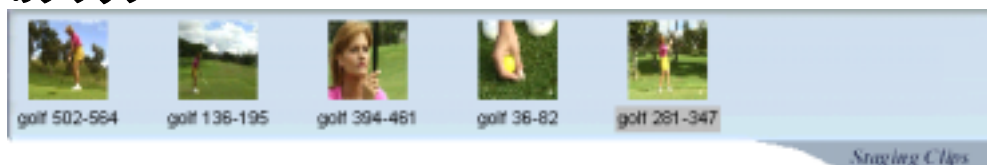
: DV-AVI ファイルの種類を表示 (TYPE 1 または TYPE 2)



: DV-AVI ファイル名の表示



編集中のクリップ



編集可能なフレーム(編集範囲の指定されたフレーム)が登録される場所です。

現在作業中のフレームが登録されています。

フレームの登録、編集、削除、順序の変更などを手軽に管理できます。

登録されたフレームについての情報を確認できます。

それぞれの編集モードを区別できるよう、フレームが登録され、フレーム範囲が表示されます。

1. 編集するフレームの登録

フレーム編集範囲を設定してから、[編集中のクリップ]にフレームを登録します。

ドラッグ&ドロップ: [オリジナルのクリップ]に登録されたファイルをドラッグ&ドロップにより、[編集中のクリップ]に登録できます。ファイル全体が編集範囲となります。

コピーと貼り付け: [オリジナルのクリップ]に登録された動画ファイルを[コピー]し、[編集中のクリップ]に貼り付けることでも編集範囲が登録できます。ファイル全体が編集範囲となります。

ドラッグ&ドロップ、またはコピーと貼り付けによって編集フレームを登録する場合、編集モード(フレーム編集、タイトル編集、オーディオ編集、エフェクト)に応じてフレームが区別されます。

2. ファイルの管理

それぞれの編集モードに応じて、異なるメニューやウィンドウが表示されます。

登録されたフレーム(編集範囲が設定されたフレーム)をダブルクリックすると、選択された範囲がプレビューウィンドウで再生されます。

マウスの右ボタンをクリックしてポップアップメニューを呼び出し、次のような機能を実行できます。

切り取り/コピー/削除/プロパティ(ファイル情報の表示)

編集ウィンドウ

● 編集ウィンドウのボタン類

     113 / 522 : クリップを再生したり、サーチしたりします。

 : クリップを再生します。このボタンをクリックすると、ボタンはポーズ(一時停止)ボタンに変わります。

 : クリップを再生中に一時停止します。このボタンをクリックすると、再生ボタンに変わります。

 : クリップを先頭に移動します。

 : 前のフレーム  : 次のフレームを表示します。

 : クリップの最後に移動します。

159 / 574 : 総フレーム数と現在のフレームを表示します。クリックするとタイム表示となり、現在の位置を時間で表示します。

159 / 574 : フレーム表示 00:00:08:14 : タイム表示



● マークと切り取りボタン

 : 任意の再生位置への移動、範囲指定を行います。

 : クリップを切り取る範囲の始点を指定  : クリップを切り取る範囲の終点を指定

 : マーク範囲の取り消し

 : クリップの切り取り(切り取られたクリップは[編集中のクリップ]に登録)

 : ファイル全体を [編集中のクリップ]に登録 - タイトル編集を行うには、このボタンをクリックしてください。



フレーム編集モード: ボタンでフレーム編集モードになります。

編集しようとする動画を[編集ウィンドウ]に登録するには、[オリジナルのクリップ]に登録されている動画をダブルクリックするか、またはドラッグ&ドロップします。

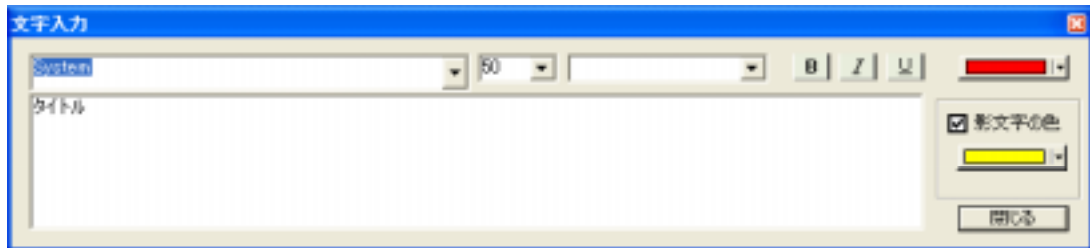


タイトル編集モード: ボタンでタイトル編集モードになります。

 : 動画にタイトルを挿入したり、編集したりします。



1.  : 挿入するタイトルの属性を指定します。



 : 使用するフォントの種類を指定します。

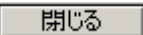
 : タイトルフォントの大きさを指定します。

 : 太字、イタリック(斜体)、下線を指定します。

 : タイトルフォントの色を指定します。

☒ 影文字の色
 : タイトルフォントに影を付けたい場合に、「影文字の色」をチェックしてここで色を選択すると、タイトルフォントの影部分の色が指定できます。

 : タイトルを入力します。

 : タイトル属性の設定を終了します。

タイトルの移動開始位置を指定するには、タイトルを画面の目的の位置に移動させます(マウスドラッグを利用)。

2.  : このボタンをクリックすると、タイトルアニメーションの経路を設定できます(直線移動)。

画面に入力されたタイトルをマウスでドラッグします。

マウスでドラッグすると、指定された開始位置から 直線が引かれます。

タイトルは引かれた直線の通りに移動します。

もう一度このボタンをクリックすると、タイトルの開始位置を設定し直すことのできる状態になります。

この状態で  ボタンが  ボタンに変わり、タイトルのアニメーションをカーブに沿って設定できるようになります。

3.  : ボタンをクリックすると、タイトルアニメーションの経路を直線から カーブに変更できます。

- 画面に入力されたタイトルをマウスでドラッグします。
- 元の位置から直線が引かれ、両端に点が現れます。
- 上で現れた点を任意の位置に動かし、カーブを描きます。
- タイトルはカーブに沿って移動します。

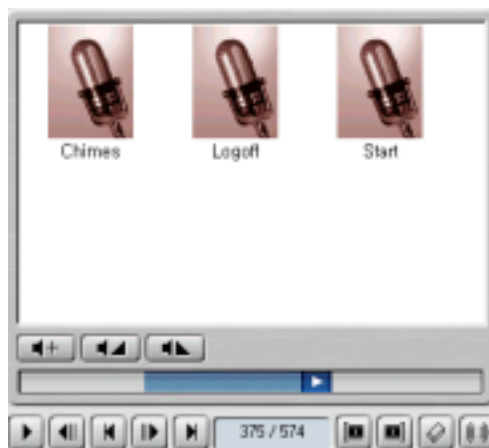


4. : 右図のような画面になり、タイトルアニメーションの種類(形式)を選択できます。
5. : タイトルアニメーションを無効にします。先にタイトルアニメーションが設定されている場合は、設定を無効に(初期化)します。
6. : 編集画面を拡大表示します。
7. : 編集画面を縮小表示します。



オーディオ編集モード: AUDIO ボタンでオーディオ編集モードになります。

1. : このボタンを用いると、オーディオ(WAVE, MP2, MP3) ファイルを登録ウィンドウに登録できます。
2.  ボタンをクリックすると、挿入したオーディオのフェードイン(音量を徐々に上げる)が行われます。
3.  ボタンをクリックすると、挿入したオーディオのフェードアウト(音量を徐々に下げる)が行われます。



※ 元のビデオファイルの音声と、挿入するオーディオファイルのサンプリングレートが異なる場合(例: ビデオファイルのサンプリングレートが48KHz、オーディオファイルが44.1KHz)、正常に挿入できないことがあります。ご了承ください。



エフェクト編集モード: EFFECT ボタンでエフェクト編集モードになります。

1. 登録されているフィルタはエフェクトモードのウィンドウに表示されます。
2.  ボタンで カラーフィルタが選択できます。
動画の色を変化させることができます。
3.  ボタンで エフェクト(特殊効果)フィルタが選択できます。

動画の画質、コントラストなどを変化させます。



4.   ボタンで トランジション(場面転換)フィルタが選択できます。

動画のサイズ、場所、動きなどを変化させます。

5. 編集ウィンドウにフィルタが表示されている状態で、適用するフィルタをダブルクリックすると、フィルタの適用範囲とフィルタの強弱を設定することができます。

ビデオイメージが表示されている画面をマウスでドラッグすると、四角い枠が自動的に設定され、マウスの動きに応じてサイズが変わります。

 ボタンで指定範囲を初期化します(画面全体が指定された状態に戻します)。



ビデオイメージ画面下のスライドバーで、フィルタ効果の強弱を設定することができます。右の  ボタンで各フィルタの初期設定の強さに戻すことができます。



 ボタンでフィルタ選択画面に戻ります。

● 保存情報の表示

プレビューウィンドウ右下端にある  (保存) ボタンをクリックしての保存操作実行中に、進行状況と情報を表示します。
クリップの保存中は、編集ウィンドウが自動的にこのモードに切り替わります。



プレビューウィンドウ

編集反映中、またはプレビュー(確認)中の動画が出力されます。

[編集中のクリップ]に登録された動画をダブルクリックするか、またはドラッグ&ドロップすることによる再生できます。

2つの動画を比較するために、編集前のクリップに登録されている動画をこのウィンドウから再生させることもできます。



● クリップ表示(完了プレビュー)時のボタン



プレビュー：[編集中のクリップ]に登録されているクリップの編集結果を反映(保存)させる前に、編集の反映状況を事前に確認できます。プレビューはプレビューウィンドウに表示されます。



保存：[編集中のクリップ]に登録されたクリップを、1つの映像にまとめます(結合)。このボタンをクリックすると、右のようなダイアログボックスが開き、MPEG、DV-AVI、AVI(通常のAVIファイル)のうち、どのファイル形式で保存するのかを選択することができます。

それぞれの形式を選択した場合に表示されるダイアログボックスについては、47～48ページをご覧ください。

6.3.4 フレーム編集の手順

新しいビデオクリップを生成するには"フレーム編集(動画ファイルの分割・結合)"を最初の段階とし、続いて"タイトル編集""オーディオ編集""エフェクト挿入"を行うことをお勧めします。

"分割・結合"とその他の編集は、同時に進行できません。

動画を分割する手順：1つの動画から一部分だけを取り出し、ファイルに出力する方法です。

動画を結合する手順：2つ以上の動画、または1つの動画からいくつかの部分を取り出し、結合して1つのファイルにする方法です。

タイトルを編集する手順：動画に任意の文字を挿入し、回転などの変形を挿入することもできます。

動画分割の手順

1) ファイルの登録

[追加]メニュー：メニュー → ファイル → 追加 の順に選択し、目的のファイルを登録します。

ドラッグ&ドロップ操作でも登録できます。

登録されたファイルをダブルクリックするか、編集ウィンドウにドラッグ&ドロップして準備を完了します。

2) ファイルにマークする

マーク： ボタンを利用し、保存したい部分を指定します。

"カット"ボタンをクリックし、[編集中のクリップ]にクリップを登録します。

2つ以上のクリップが[編集中のクリップ]に登録されている場合は結合してファイルに出力されますので、分割を行う場合は1つしか登録できません。

3) 結合する



ボタンをクリックすると、保存されるファイルの内容を事前に確認(プレビュー)することができます。



ボタンをクリックするか、またはファイル → 結合メニューを選択すると、[編集中のクリップ]に登録されたクリップをファイルに出力します。保存中に、その進行状況と情報がメッセージウィンドウに表示されます。

動画結合の手順

1) ファイルの登録

[追加]メニュー：[ファイル]→[追加]を通じて目的のファイルを登録します。

または、ファイルをドラッグ&ドロップします。

登録されたファイルをダブルクリックするか、または編集ウィンドウにドラッグ&ドロップし、結合するファイルの登録準備を完了します。

2) 結合するファイルの登録

マーク： ボタンを利用し、結合したい部分を設定します。何も設定しない場合は、ファイル全体が選択されます。

[切り取り]ボタンをクリックし、[編集中のクリップ]にクリップを登録します。

1) と 2) の作業を繰り返し、結合したいファイルをすべて[編集中のクリップ]に登録します。新たに登録する動画の録画時の設定(ビットレートなど)が、先に登録されたファイルと異なる場合は、[編集中のクリップ]に追加登録することはできません。



ボタンをクリックすると、結合するファイルの内容をプレビューすることができます。

動画出力(保存)の手順



ボタンをクリックするか、または[ファイル]→[結合]メニューを選択すると、[編集中のクリップ]に登録された複数のファイルを1つのファイルにまとめることができます。

結合が完了するまでの進行状況がメッセージウィンドウに表示されます。

- 1)  ボタンをクリックします。右のように保存形式を選択するためのダイアログボックスが表示されますので、目的の形式を選択します。

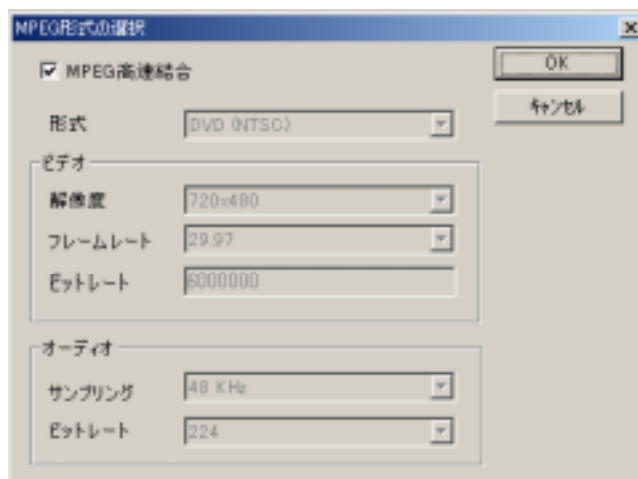


- 2) MPEG(高速結合=スマートレンダリング)で保存する場合:

1)で「MPEG」を選択すると、MPEG-1またはMPEG-2で保存されます。

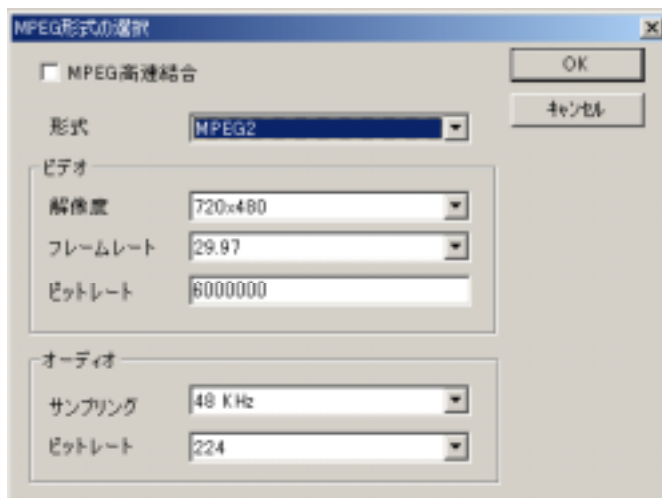
編集対象のファイルがMPEG形式で、かつそのままMPEGで保存する場合、2種類の出力方式が選択できます。[MPEG高速結合]にチェックした状態では、変更された部分のみ(単純なファイル結合の場合は結合部分のみ)を再エンコードする、スマートレンダリング機能が有効

になります(ただし、GOP単位での編集となりますので、指定されたフレームに対して0.5秒程度の誤差が発生することがあります)。



3) MPEG(フレーム単位)で保存する場合

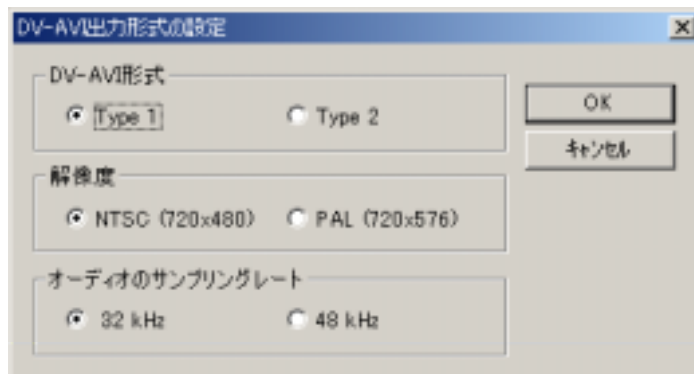
MPEGファイルをフレーム単位の精度で編集結果を保存したい場合、[MPEG高速結合]のチェックを外すことで、右のようにプロファイル(解像度やビットレート、フレームレートなど)を任意に調整して保存することができます。MPEG-2ファイルをMPEG-1ファイルなど、別の形式に変換して保存することも可能です。AVIファイル(DV-AVIを含む)をMPEG形式に変換して保存する場合は、[MPEG高速結合]は選択できず、こちらの方式で保存されます。



4) DV-AVI形式で保存する場合

1)でDV-AVI形式を選択した場合、右のようなダイアログボックスからDV-AVI Type 1、Type 2や解像度(放送方式別)、オーディオのサンプリングレートを選択することができます。

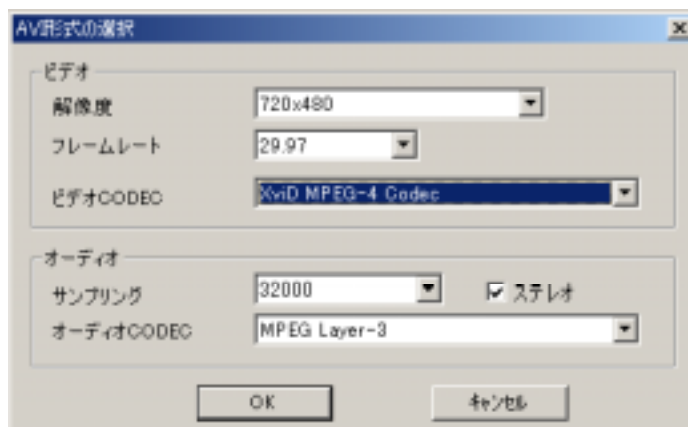
DV機器への書き出しを行う場合は、必ず「Type 1」を選択してください。また、「解像度」は日本国内用のDV機器への書き出しに用いる場合、必ず「NTSC」を選択してください。



5) AVI形式で保存する場合

1)でAVI形式を選択した場合、右のようなダイアログボックスからAVI用のビデオCODECや解像度、フレームレート、オーディオのサンプリングレート、オーディオCODECを選択できるダイアログボックスが表示されます。

解像度とビデオCODECは、必ず選択してください。オーディオCODECを選択しない場合、音声はPCM(非圧縮)で出力されます。



[OK]をクリックすると、ビデオCODECの設定画面が表示されますので、適切な設定を行ってください。

- ※ ビデオCODECの中には、Microsoft MPEG-4 Video Codec V3のように、選択できても実際の出力には使用できない(エラーとなる)ものがあります。これは、CODECの開発元が何らかの理由でCODECを再生専用に設定しているためです。あらかじめご了承ください。

6.3.5 タイトルの編集と保存手順

タイトル編集を行うには、編集ウィンドウ左側の  ボタンをクリックしてください。

編集ウィンドウで範囲指定した状態で  をクリックすると、指定した範囲に対してタイトル挿入を行うことができます。ただし、フレーム(カット&ペースト)編集とタイトル編集を同時に行うことはできません。タイトルなしのファイルとタイトルありのファイルを結合するには、タイトル編集をいったん終えて結果を出力してから、タイトルなしのファイルとともに結合作業を行うようにしてください。

1) ファイルの登録

[オリジナルのクリップ]に目的のファイルを登録します。

登録されたファイルをダブルクリックするか、編集ウィンドウにドラッグ&ドロップしてマーキングの準備を終わめます。

2) ファイルにマーキングする

マーク:  ボタンを利用し、タイトルを挿入したい位置を指定します。([切り取り]ボタンは押さないでください)

[タイトル編集ウィンドウ]タブを選択すると、[切り取り]ボタンが[新しいフィルタクリップの挿入]ボタンに変わります。

 ボタンで、[マーク]された範囲を編集できるよう、[編集中のクリップ]に登録します。これで、タイトル編集の準備が完了します。

3) タイトルの編集

 ボタンをクリックすると、挿入される文字の属性を指定できます。文字のサイズ、色、フェードイン、フェードアウトなどを指定してください。

 ボタンをクリックすると、文字を直線のまま動かすアニメーション効果を与えることができます。画面に入力された文字をマウスでドラッグしてみてください。元の位置から引かれた線に沿って文字が直線のまま動きます。

 ボタンをクリックすると、文字を直線のまま動かすアニメーション効果を与えることができます。画面に入力された文字をマウスでドラッグすると、元の位置から線が引かれます。この線の横にある点を上下に動かして直線を描くと、文字がその曲線に沿って動きます。画面縁のスクロールバーを使って画面の外に文字を置くこともできるので、さまざまなアニメーション効果を与えることができます。





ボタンをクリックすると、タイトルアニメーションの種類を選択できます。

Balloon	下から上へ徐々に明るく表示	Magents	拡大した文字を縮小しながら表示
Balloon Deflated	上から下へ徐々に明るく表示	Magents Up	拡大した文字を上から下に縮小しながら表示
Slide Up	徐々に下から上へ	Magents Down	拡大した文字を下から上に縮小しながら表示
Slide Down	徐々に上から下へ	Assembly Line	拡大した文字を右から左に縮小しながら表示
Slide Left	徐々に右から左へ	Double Vision Vertical	上下に分離した文字を結合しながら表示
Slide Right	徐々に左から右へ	Double Vision Horizontal	左右に分離した文字を結合しながら表示
Unite	文字幅を徐々に寄せる	Balloon Up	下から上に徐々に明るく表示
Hide Left	重ねた文字を右から左へ徐々に分離	Balloon Down	上から下に徐々に明るく表示
Hide Right	重ねた文字を左から右へ徐々に分離	Balloon Left	右から左に徐々に明るく表示
PopUp I	徐々に1文字ずつ表示	Balloon Right	左から右に徐々に明るく表示
PopUp II	拡大しながら1文字ずつ表示	Cut	遅らせて表示
PopUp III	回転させながら1文字ずつ表示	Wipe	徐々に表示
PopUp IV	ランダムに拡大しながら表示	Rotate Clockwise	時計回りに回転させながら表示
Trance Up	上方向に徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去	Rotate CounterClockwise	時計回りと反対に回転させながら表示
Trance Down	下方向に徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去	Rolling Left	右から左に文字を回転させながら徐々に表示
Trance Left	左方向に徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去	Rolling Right	右から左に文字を回転させながら徐々に表示
Trance Right	右方向に徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去	Trance Rotate Clockwise	時計回りに徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去
Typing	1文字ずつ表示	Trance Rotate CounterClockwise	時計回りに徐々に表示しながら背景を分離して徐々に消去



ボタンをクリックして編集内容をプレビューすることができます。



ボタンをクリックすると、タイトルの挿入された動画ファイルが作成されます。
タイトル挿入の進行状況は メッセージウィンドウに表示されます。

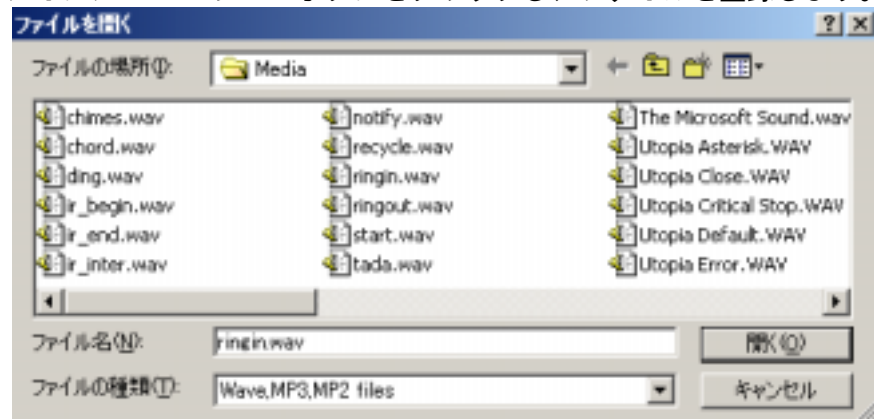
- ※ MPEG-2ファイルの場合、もとのファイルが640×240ドットや480×480ドット、320×480ドットといった4:3以外の縦横比で作成されていると、挿入されたタイトル文字の縦横比も変わります(640×240の場合は縦長に、480×480ドット、320×480ドットの場合は横長になります)。ご了承ください。

6.3.6 オーディオの編集と保存手順

オーディオ編集モードを利用するには、編集ウィンドウ左側の  ボタンをクリックしてください。

1. ファイルの登録

メインメニューの  ボタンをクリックし、ファイルを登録します。



または、ドラッグ&ドロップによってファイルを登録します。
登録されたファイルをダブルクリックするか、または画面の出力領域にドラッグ&ドロップして範囲の指定の準備を完了します。

2. オーディオ編集を適用する範囲を指定します。

3. オーディオの編集

編集範囲が設定、登録されると、オーディオ編集モードのウィンドウに登録されているオーディオファイル一覧が現れます。

登録されているオーディオファイルがない場合は、オーディオ編集ボタンを用いてオーディオファイルをオーディオ編集モードのウィンドウに登録します。

設定された編集範囲に登録されたオーディオファイルを追加します。

設定された編集範囲が複数ある場合、それぞれの範囲に別々にオーディオファイルを登録できます。

編集されたフレームをプレビューして確認します。

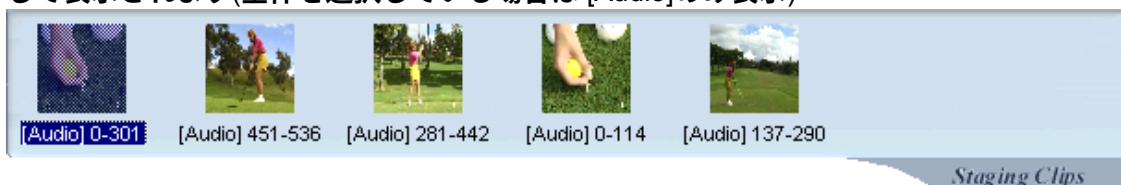
上の手順を繰り返し、目的のフレームを作成します。

編集し終わったフレームを動画ファイルに保存します。

オーディオを追加する範囲にタイトル編集やエフェクト編集を併用することもできます。

オーディオ編集により、動画にBGMを追加することができます。

4. 登録されたフレームは、オーディオ編集モードであることを表す [Audio]フレーム範囲として表示されます(全体を選択している場合は [Audio]のみ表示)



6.3.7 エフェクトの適用と保存手順



エフェクトを適用するには、編集ウィンドウ左側のEFFECTボタンをクリックしてください。

1. エフェクト編集のためにフレーム編集範囲を設定します。
2.  ボタンをクリックすると、設定されたフレーム範囲を[編集中のクリップ]に登録できます。
3. フレーム範囲指定を行わずにフレームを登録すると、ファイル全体が範囲として登録されます。
4. 上の手順を繰り返し、フレームを登録します(フレームの重複登録、タイトル編集、オーディオ編集、エフェクトと同時に登録できます)。
5. フィルタを用いて、選択されているフレーム範囲にエフェクトを適用します。
目的のフィルタを、各エフェクトのフィルタグループ(カラー、エフェクト、トランジション1、トランジション2)から選択します。
 - カラーフィルタ：映像の色をさまざまに変化させることができます。
 - エフェクトフィルタ：モザイク処理、画質、明るさ、色合いなどのエフェクトが適用できます。
 - トランジションフィルタ(1)/トランジションフィルタ(2)：場面の転換時などに、画面拡大や縮小などの処理を追加できます。登録されているフィルタを選択し、フレームに適用します。
 - フィルタアイコンをダブルクリックすると(下図左)、下図右のような画面になり、ビデオ画面上をマウスでドラッグすることでエフェクトを適用する範囲が指定でき、その下のスライダーでエフェクトの強さが設定可能です。

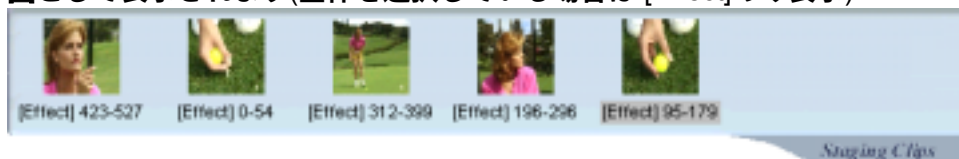


- 1つのフレーム範囲、または複数のフレーム範囲に対してエフェクトの適用が可能です。
- 同一のフレーム範囲に複数のエフェクトが適用できます(同じフレーム範囲を複数回設定し、別々のエフェクトを適用することができます)。
- 設定されたフレーム範囲は、マウスでドラッグすることにより、順序を変更することもできます。
- 編集されたフレームはプレビューウィンドウのプレビューボタン  をクリックすることで、リアルタイムで確認することができます。

上の手順を繰り返すことで、目的通りにフレームを作成できます。

最後に、プレビューウィンドウの  ボタンをクリックして、編集の完了したフレームをファイルに保存してください。

6. 登録されたフレームは、エフェクト編集モードであることを表す [Effect] フレーム範囲として表示されます(全体を選択している場合は [Effect] のみ表示)



本製品のエフェクト機能に用意されているフィルタの種類は、次の通りです。

● カラーフィルタ

Blue Effect	色を青基調に	Hue Effect	色合いを深く
Blue Filter	青色を強調	Parabola Effect	反転表示の一種
Blue Inverting	青基調の色反転表示	Red Effect	色を赤基調に
Convert BR	青系統と赤系統色を反転	Red Filter	赤色を強調
Convert GB	緑系統と青系統色を反転	Red Inverting	赤基調の反転表示
Convert RG	赤系統と緑系統色を反転	Replace RGB	赤・緑・青系統色の入れ替え
Convert RGB	赤・緑・青系統色をずらす	Saturation	鮮やかさを変換
Gray Scale	モノクロ階調表示に	Solarizing	色合い反転
Green Effect	色を緑基調に	Threshold I	モノクロに変換
Green Filter	緑色を強調	Threshold II	モノクロに変換(明暗表現)
Green Inverting	緑基調の色反転表示		

● エフェクトフィルタ

After Image	表示を左右に揺らす効果	Luminosity	明度の増減効果
Blur	ぼかし効果	Mosaic	モザイク効果
Blur Motion	表示をぼかして左右に揺らす効果	Pile Window	表示積み重ね効果
Contrast	コントラスト強調効果	Posterization	階調数の減少効果
Diffusion	ガラスを通したような効果	Sharpen	鮮鋭度の増減効果
Edge Detection	輪郭浮き出し効果	Smoothing	なめらかさの増減効果
Embossing	輪郭浮き出し反転効果	ZigZag	ジグザグ効果
Flash Effect	点滅効果	Zoom In	ズームイン(拡大)効果
Grid	縦横に枠線を追加する効果	Zoom Out	ズームアウト(縮小)効果

● トランジション(場面転換)フィルタ(1)

Close Horizontal	水平方向に縮小	Oval Vertical Open	画面を中央から上下方向に徐々に楕円表示
Close Vertical	垂直方向に縮小	Overlap	画面を多重に表示
Diamond Horizontal	画面を反転させ、中央の垂直方向に通常画面を菱形表示	Progress Zoom	画面を切り取り、モノクロ化した画面を背景に表示
Diamond Vertical	画面を反転させ、中央の水平方向に通常画面を菱形表示	Rain Drop	雨の日のような効果
Enlarging	画面を徐々に拡大	Sandglass	画面を砂時計型に表示
Fade In	画面を徐々に明るく	Shrinking	画面を徐々に縮小
Fade Out	画面を徐々に暗く	Sphere Close	画面を円形にして徐々に縮小
Fanning Bottom	画面を三角形に下辺から拡大	Sphere Open	画面を円形にして徐々に拡大
Fanning Left	画面を三角形に左辺から拡大	Transition Open 1	画面を徐々に表示
Fanning Right	画面を三角形に右辺から拡大	Transition Open 2	画面を徐々に表示

第6章 付属ソフトの使い方

Fanning Top	画面を三角形に上辺から拡大	Transition Close 1	画面を徐々に消去
Flip	画面上下を反転	Transition Close 2	画面を徐々に消去
Flip Horizontal	画面を裏返して左右反転	Transform Screen	画面を徐々に三角形から円形に
Flip Vertical	画面を裏返して上下反転	Triangle Bottom	下辺を頂点に三角形表示
Mirror Left	画面左半分を切り取って右半分に反転表示	Triangle Left	左辺を頂点に三角形表示
Mirror Right	画面右半分を切り取って左半分に反転表示	Triangle Right	右辺を頂点に三角形表示
Mirror Top	画面上半分を切り取って下半分に反転表示	Triangle Top	上辺を頂点に三角形表示
Mirror Bottom	画面下半分を切り取って上半分に反転表示	Triangle Horizontal Pair	中央を頂点に水平方向に2つの三角形表示
Moving	画面を4つに切り取って外側へ移動	Triangle Vertical Pair	中央を頂点に垂直方向に2つの三角形表示
Moving Horizontal	画面を左右に切り取って外側へ移動	Turn Close Horizontal	画面を水平に回転しながら消去
Moving Vertical	画面を上下に切り取って外側へ移動	Turn Close Vertical	画面を垂直に回転しながら消去
Open Horizontal	画面を中央から左右に徐々に表示	Turn Open Horizontal	画面を水平に回転しながら表示
Open Vertical	画面を中央から上下に徐々に表示	Turn Open Vertical	画面を垂直に回転しながら表示
Oval Screen 1	画面を楕円形に切り取り	Windmill Open	画面を風車型に徐々に表示
Oval Screen 2	画面を楕円形に切り取り	Windmill Close	画面を風車型に徐々に消去
Oval Horizontal Open	画面を中央から水平方向に徐々に楕円表示		

● トランジション(場面転換)フィルタ(2)

3D Effect	元の画面を背景に、もう1枚の画面をランダムに回転	Overlap Vertical	画面を上下に重ね合わせ表示
Button Effect	円を背景に画面を表示	Rotate Flat	画面を上下に反転
Diamond Shape	画面を中央に菱形表示	Rotate Horizontal	画面を水平に回転
Insert Picture	元の画面を背景に、左上端にもう1枚の画面を表示	Rotate Vertical	画面を上下に回転
Oval Multi Horizontal	画面を上下方向の複数の楕円形にして表示	Sphere	画面を中央に円でくり抜いて表示
Oval Multi Vertical	画面を左右方向の複数の楕円形表示	Wave Horizontal	画面を水平に波状表示
Overlap Horizontal	画面を左右に重ね合わせて表示	Wave Vertical	画面を垂直に波状表示

第7章 サードパーティ製ソフトとの互換性

おことわり

本章に記載の内容は、PrimeTV 7133をお使いの方の便宜を図る目的で、参考情報として提供しています。弊社では本製品に添付されていないソフトウェアの使用方法や不具合についてのお問い合わせには、お答えしかねます。あらかじめご了承ください。他社製品についてのお問い合わせは、その製品で指定のユーザーサポート窓口へご依頼ください。

7.1 使用可能なサードパーティ製ソフト

PrimeTV 7133は、DirectShowに対応したビデオキャプチャ・アプリケーションで動作します。ただし、DirectShow対応が謳われているアプリケーションでも、次のような場合は動作しないことがあります。

- ・ 既存のビデオキャプチャ機器（例：Conexant Bt878チップ採用の製品など）固有の機能に合わせて開発されているか、Philips SAA7130シリーズのチップを採用した製品（他社品を含む）への対応を謳っていない製品
- ・ バージョンの古い製品：パッケージ製品として市販されているビデオキャプチャ・アプリケーションが動作しない場合は、Philips SAA7130シリーズのチップを採用した製品に対応した最新バージョンが提供されているかどうか、その製品の発売元にお問い合わせください。
- ・ 他のビデオキャプチャ機器（弊社製品PrimeTV/SiおよびS、USB CATCHシリーズを含む）専用に開発されている、製品添付のビデオキャプチャ・アプリケーション

アプリケーションごとの動作確認情報は、弊社Webサイトに随時掲載の予定です。

7.2 LifeView FlyVideo AM Sourceの使用法

DirectShow対応のビデオキャプチャ・アプリケーションの中には、たとえばWindows Media エンコーダやWindows ムービーメーカーのように、テレビチャンネルの切り替えができないものが存在します。このような場合、目的のアプリケーションの**起動に先立ち**、LifeView FlyVideoアプリケーションとともにインストールされる「LifeView FlyVideo AM Source」を起動しておくことで、チャンネルの切り替えが可能です。

LifeView FlyVideo AM Sourceは、[スタート]メニューの[プログラム]-[LifeView FlyVideo]-[LifeView FlyVideo AM Source]から起動できます。

LifeView FlyVideo AM Sourceの使用方法は3.2.1章のLifeView FlyVideo の「TV設定」とほぼ同一です。



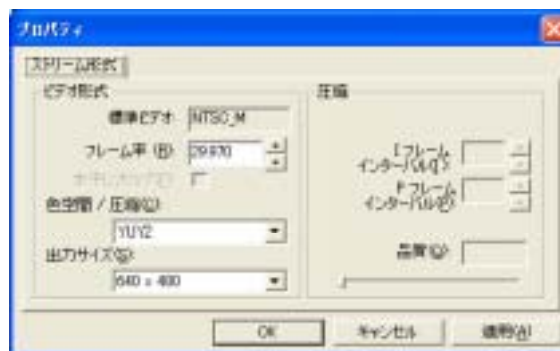
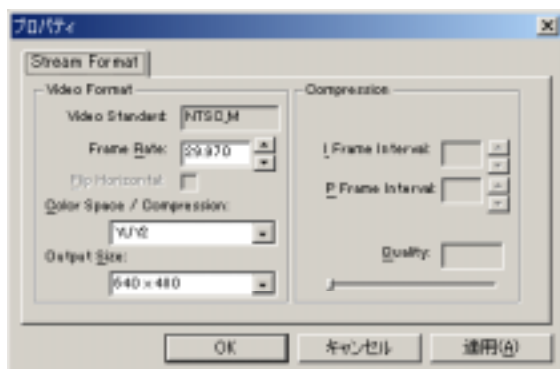
アプリケーションを起動した直後にテレビチューナーからの音声がでない場合は、いったんほかのチャンネルに切り替えてみてください。

7.3 DirectShowダイアログボックス

7.3.1 ビデオキャプチャ/プレビューピン

DirectShowアプリケーションの中には、「ビデオキャプチャピン」や「ビデオプレビューピン」に関する個別の設定が必要なものがあります。アプリケーションの仕様によっても異なりますが、通常、ビデオキャプチャピンではビデオキャプチャ時の、ビデオプレビューピンではプレビュー（待機中の表示）時の画面サイズと色空間（色数と色の表現方法）/圧縮の設定をそれぞれ行います。

以下に示す画面はWindows 98SE/2000（左、英語表示）とWindows Me/XP（右、日本語表示）のビデオキャプチャピンおよびプレビューピンのダイアログ画面です。キャプチャピン、プレビューピンとも表示および設定の内容は同一です。

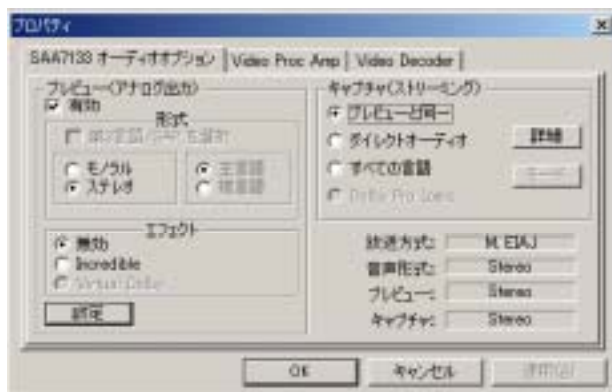


色空間はi420、YUY2、RGB 555(16bit)、RGB 565(16bit)、RGB24、RGB32などが選択できます。i420やYUY2、RGB 555/565は1フレームあたりのデータ量が少なくなるので、CPUやHDDの性能に比較的余裕のないシステムに適しています。RGB24/32ではデータ量が増大しますが、色の表現力が向上します。

なお、縦480ラインでプレビューを行いながらキャプチャ可能なのは、「スマートティー (Smart Tee)」というDirectShowフィルタを扱えるアプリケーションに限られます。

7.3.2 ビデオキャプチャフィルタ

DirectShowのビデオキャプチャフィルタは通常、表示の明るさや色彩に関する微調整を行いますが、PrimeTV 7133では音声に関する設定も行います。



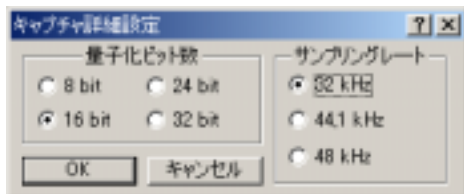
二重音声放送の受信やキャプチャ時に音声を切り替える必要がある場合を除いて、通常はこのままの設定でお使いください。

なお、「ステレオ」が選択できるのはステレオ放送を受信中の場合のみ、「主言語」「副言語」が選択できるのは二重音声放送の場合のみです。

※ このメッセージは、LifeView FlyVideoをインストールしていない場合、英語で表示されることがあります。



「設定」ボタンをクリックすると表示される、音声の詳細設定に関するダイアログです。音量の調整が可能です。



「詳細」ボタンをクリックすると表示されるダイアログです。
量子化ビット数16ビット、サンプリングレート32KHz以外の設定は、2002年9月現在できません。



Video Proc Ampは画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さ、シャープネス（鮮鋭度）を設定します。調整が必要な場合にお使いください。



Video Decoderはとくに設定を変更する必要はありませんが、「VCR Input」をチェックすると、外部入力にビデオデッキを接続し、ビデオテープを素材としたキャプチャを行う場合に発生する問題が解消できることがあります。なお、ビデオデッキのチューナーからのキャプチャを行う場合は、VCR Inputはチェックしないでください。

7.4 製品別の注意点

7.4.1 Windows Media Encoder Ver. 7以降

Windows Media Encoderを起動する前に、LifeView FlyVideo AM Sourceを起動して目的のビデオソース(ソースがテレビの場合はテレビチャンネルも)を選択しておくことで、目的のビデオソースとチャンネルに選択した状態で起動し、そのままキャプチャを行うことができます。

7.4.2 Ulead Systems社製品

Ulead VideoStudio、DVD MovieWriter(DVD MovieFactory)のようにVideo for Windows(Ulead VFWキャプチャプラグイン)とDirectShow(Ulead DirectShowキャプチャプラグイン)の両方の

ビデオキャプチャ機器仕様に対応しているアプリケーションでは、DirectShowのほうを選択することで利用可能です。お使いのUlead社製品が音声多重の設定変更(主音声/副音声の選択)をサポートしていない場合は、LifeView FlyVideo AM Sourceをお使いください。

なお、MPEGキャプチャに対応しているUlead製品のうち、Ulead DSW MPEG キャプチャプラグインを搭載しているものでは、MPEGキャプチャ時には同プラグインをお使いください。

7.4.3 hunuuaCap (ふぬああキャプチャ)

hunuuaCapはフリーソフトウェアとして提供されているDirectShowビデオキャプチャソフトです。このソフトの使用により、PrimeTV 7133の標準機能として提供していないビデオCODEC/オーディオCODECを使ったAVIキャプチャが可能になります。

PrimeTV 7133でhunuuaCapを利用する場合、次のような設定を行ってください。

- ・ 縦480ライン (640×480、720×480ドットなど) のビデオキャプチャを行う場合、「デバイスの設定」ダイアログボックスにある「グラフ2」タブで、「スマートティーを使用する」をチェックしてください。
- ・ ビデオキャプチャピンでYUY2形式を選択してビデオキャプチャを行う場合、hunuuaCapの公式Webサイトで配布されているDirectShowフィルタ「クリッピングフィルタ」をインストールしてください (クリッピングフィルタをインストールしなくてもキャプチャは正常に行われますが、キャプチャ中に画面が反転表示されます)。

hunuuaCapの最新版プログラムおよびクリッピングフィルタは、hunuuaCapの公式Webサイト <http://www.moemoe.gr.jp/~hunuua/> からダウンロードできます。

※ PrimeTV シリーズのWebサイトで、hunuuaCapの設定方法や簡単な使用方法についてご紹介しております。 <http://www.novac.co.jp/hard/primetv/hunuua/>

7.4.4 RealProducerおよびその他のVideo for Windows アプリケーション

RealProducer (バージョン8.xまで) は、Video for Windows (Windows 95までで標準だったビデオキャプチャカード仕様) 対応で、かつ特定のビデオ形式での映像出力が可能な入力機器のみ利用できるように作られているため、お使いいただけません。ご了承ください。

なお、RealProducerの後継ソフトであるHelix Producer 9については、動作することを確認しております (Helix ProducerはDirectShowキャプチャに対応しています)。

それ以外のVideo for Windowsアプリケーションについては、原則として動作確認の対象外とさせていただきますが、万一お試しになる場合は、DirectShowアプリケーションの場合と同様、LifeView FlyVideo AM Sourceを先に起動した状態から目的のアプリケーションを起動することで、チャンネルや音声多重の制御などが可能となります。

7.4.5 Windows ムービーメーカー

PrimeTV 7133の最初のリリース (2002年9月版ドライバ) では、Windows XPおよびWindows Meに付属の「Windows ムービーメーカー」をお使いいただくことはできませんが、今後ドライバの改版 (バージョンアップ) によって対応の予定です。

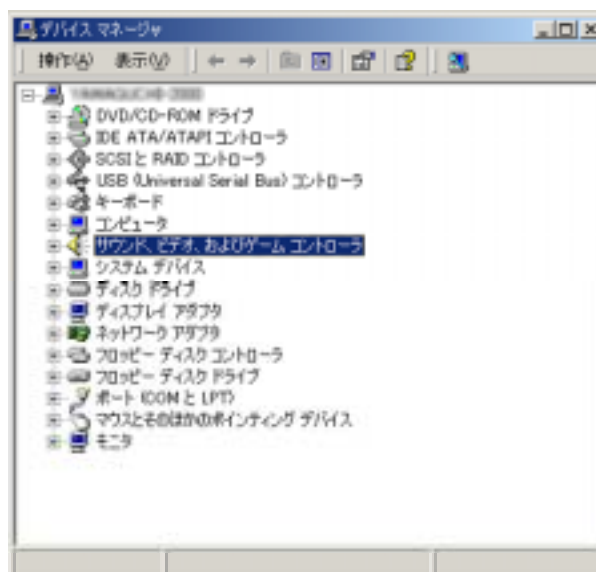
第8章 Q & A

Q: PrimeTV 7133のユーティリティソフトが正常に起動できません。

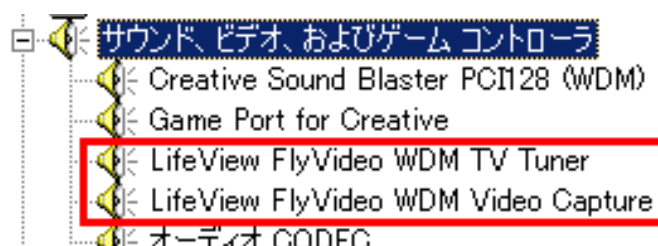
A: まず、PrimeTV 7133のカードが、お使いのパソコンのPCI拡張スロットに正常に組み込まれているかどうかを確認してみてください。カードをしっかりと取り付けたつもりでも、緩んでいたりすると正常に動作しないことがあります。

次に、PrimeTV 7133のドライバが正常に組み込まれているかどうかをご確認ください。次の手順で、ドライバが正常に組み込まれているかどうかを確認できます。

- 1) [マイ コンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
または、[スタート]メニュー-[コントロール パネル]-[システム]の順に選択します。
- 2) [システムのプロパティ]というウィンドウが開きますので、Windows 98/Meでは、[デバイス マネージャ]タブを選択します。
Windows 2000/XPをお使いの場合は、[ハードウェア]タブを選んで[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。
- 3) 右のような画面が開きますので、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」を選択し、[+]をクリックしてください。
- 4) 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の分類で組み込まれているドライバの一覧が表示されます。



ここで「LifeView FlyVideo WDM TvTuner」「LifeView FlyVideo WDM Video Capture」の2つが組み込まれていれば正常です。



Q: PrimeTV 7133のユーティリティソフトを起動するとエラーになったり、画面が反転したり、動画ファイルの再生ができなかったりします。

A: PrimeTV 7133はほとんどのVGA(ビデオカード、またはパソコンに内蔵のVGA機能)との組み合わせでお使いになれますが、お使いのVGAによっては、まれに特定の解像度や色数において正常に表示が行われなかったり、エラーが起きてプログラムが起動できなくなったりすることがあります。

とくに、ビデオメモリ(VGA用のメモリ)とメインメモリ(プログラムの実行に使われるメモリ)を共有するタイプのVGA機能を搭載したパソコンでは、こうした現象が比較的現れやすいようです。

このような場合は、

- 1) 解像度を下げしてみる(例: 1024×768ドットで使用している場合は800×600ドット以下に)
- 2) 色数を減らすか、または増やしてみる
- 3) VGAのドライバ(ディスプレイドライバ)をバージョンアップしてみる

といった操作によって、正常に動作するようになることがあります。

VGAの解像度や色数の設定は、Windowsのデスクトップ上のアイコンとウィンドウ以外の部分をマウスで右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[画面のプロパティ]を開き、さらにそこから[設定]を選択することで可能になります。また、機種によっては独自の解像度/色数設定用ユーティリティが提供されていることもあります。

ディスプレイドライバをバージョンアップする手順については、お使いのビデオカードやパソコンの取扱説明書などをご参照ください。

Q: PrimeTV 7133のユーティリティソフトを起動しても、音が出ません。

A: 次のような原因が考えられます。

- 1) PrimeTV 7133のオーディオ出力がサウンドカード(またはパソコンに内蔵のサウンド機能)のライン入力(Line-In)端子に正しく接続されていない可能性があります。本製品に付属のオーディオケーブルで、PrimeTV 7133のオーディオ出力とサウンドカードのライン入力との間が、正しく接続されているかどうかを確認してください。
各入出力端子が色分けされているサウンドカードでは、通常、ライン入力端子は水色の端子となります。
- 2) サウンドカード(またはパソコンに内蔵のサウンド機能)のボリュームコントロールで、ライン入力ミュート(消音=無効状態)されている可能性があります。ボリュームコントロールを起動し、ミュートを外してください。

Windows 標準のボリュームコントロールの場合は、下記の通りです。

- 1) タスクバー右端のボリュームアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きます。
- 2) [ミュート]にチェックが入っているかどうかを確認し、チェックされていれば解除します。



弊社製品のPCIサウンドカード「ReMiXシリーズ(ReMiX 2000/ReMiX DXT)」および「Sound MX」では、ミキサーを起動して[ライン]のボタン左のランプ表示が明るくなっていることを確認してください。



- 3) サウンドカード(またはパソコンに内蔵のサウンド機能)のドライバが組み込まれていなかったり、スピーカーが接続されていない可能性があります。お使いのサウンドカード(またはパソコン)のマニュアルなどをご参照の上、正しく設定を行ってください。

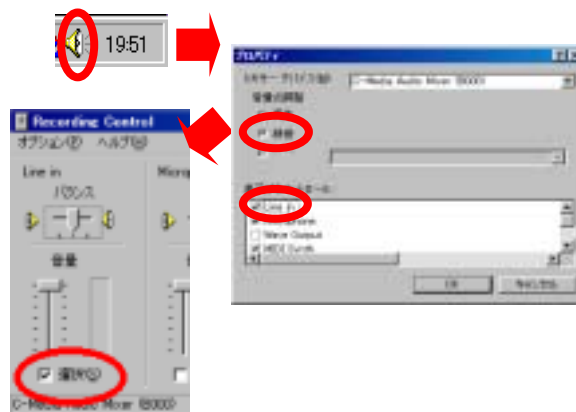
Q: PrimeTV 7133のユーティリティソフトから動画をキャプチャしましたが、音声はキャプチャできませんでした。

A: 次のような原因が考えられます。

- 1) PrimeTV 7133のオーディオ出力が正しく接続されていない可能性があります。対策方法は「Q: PrimeTV 7133のユーティリティソフトやhonestech TVRを起動しても、音が出ません」の回答1)をご参照ください。
- 2) honestech TVRでは、[オプション設定]の[ビデオ設定]でオーディオデバイスおよび入力端子が正しく設定されているかどうかを確認してください（29ページ参照）。
- 3) サウンドカード(またはパソコンに内蔵のサウンド機能)の録音コントロールで、ライン入力がミュート(消音=無効状態)されている可能性があります。ボリュームコントロールを起動し、ミュートを外してください。

Windows 標準の録音コントロールの場合は、下記の通りです。

- 1) タスクバー右端のボリュームアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きます。
- 2) ボリュームコントロールの[オプション]-[プロパティ]を開いて[音量の調整]で[録音]を選択します。
[表示するコントロール]で[ライン入力]や[Line In]がチェックされていない場合は、チェックします。
- 3) [選択]にチェックが入っているかどうかを確認し、チェックされていない場合はチェックします。



弊社製品のPCIサウンドカード「ReMiXシリーズ(ReMiX 2000/ReMiX DXT)」の場合は、ミキサーを起動して左端の[録音コントロール]を選択した上で、[ライン]のボタン左のランプ表示が明るくなっていることを確認してください。



Q: テレビの映りが悪かったり、画面にノイズが目立ったりします。

A: アンテナ端子にF型接栓でアンテナケーブル (またはCATVケーブル) がしっかり接続されているかどうか (緩んでいないかどうか) を確認してください。なお、アンテナケーブルはフィーダー線(300Ω)ではなく、被覆が厚くて外来ノイズに強い同軸ケーブル(75Ω)の使用をお勧めします。

弱電界(電波の弱い地域)での使用時や、1本のアンテナに数多くのテレビ・ビデオデッキなどを接続している場合は、アンテナとPrimeTV 7133のアンテナ端子の間にビデオブースター(電波増幅器)などを通過させる必要が生じることもあります。なお、ビデオブースターは家電店などでお求めになれます。

また、これはPrimeTVに限らず、テレビ受像機器についての一般的な注意点ですが、画面にゴースト(影)が目立つ場合は、アンテナが送信所の方向に正しく向けられて設置されているかどうかを確認してください。

Q: honestech TVRを起動すると、「オーディオデバイスの設定を確認してください」というメッセージが出ます。

A: Windows 2000 Professionalをお使いの場合、最初の起動時にこのメッセージが出る場合があります。このメッセージが表示された場合は、29ページの内容を参照の上、[オプション設定]の[ビデオ設定]でオーディオデバイスおよび入力端子を正しく設定してください。「LifeView FlyVideo WDM Video Capture」が選択されている場合は、それ以外の普段お使いのオーディオデバイス (サウンドカードまたはPCに内蔵されているサウンド機能) 名を選択してください。

Q: honestech TVRを起動すると「ステレオ」と表示されましたが、実際の番組の音声はステレオではないようです。

A: honestech TVR起動時の「モノラル」や「ステレオ」の表示は、TVRでの音声モードの設定状態を表し、放送が音声多重かどうかを示すものではありません。

Q: LifeView FlyVideoを閉じてからhonestech TVRを起動すると、音量が小さくなりました。

A: LifeView FlyVideoのボリュームコントロールはライン入力 (Line In) 、honestech TVRはメインボリューム (Volume ControlまたはMain) に連動しています。honestech TVRで音量が小さい場合は、サウンドカードのミキサー (ボリュームコントロール) を起動し、ライン入力の音量を確認の上、適宜調節してみてください。

Q: レンタルビデオ店で借りてきたビデオテープを、PrimeTV 7133に接続したビデオデッキを通じてキャプチャを試みましたが、画面の色が変わってうまくキャプチャができません。

A: これは「マクロビジョン」というコピーガード (複製防止) 機能の動作によって発生する現象です。市販やレンタル用のホームビデオ、DVD-Videoタイトルの多くはマクロビジョン信号を含んでおり、PrimeTV 7133はマクロビジョン信号に反応して画面の明度を変化させることにより、実用的なビデオキャプチャを不可能にするコピーガード機能を備えています。よって、マクロビジョンを含む市販・レンタル用ビデオタイトルからのコピーはできません。

なお、マクロビジョンを含むコピーガードを権利者に無断で無効にすることは、1999年10月に改正施行された著作権法によって禁じられています。

製品保証／ユーザーサポートについて

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されています。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。
- ・ 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になって調べてください。

それでも具合の悪い場合はサービスへ

ノバックサポートセンターあるいはお買い上げ店にご相談ください。

修理をお申込の場合は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品およびマニュアルに対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷3-38-1 本郷イシワタビル5F

株式会社ノバック サポートセンター

サポート専用電話：(03) 3817-0938

受付時間：月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）

AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

e-mail：users@novac.co.jp

- * お問い合わせに先立ち、まずこのマニュアルをもう一度ご覧になってください。また弊社のWebサイト（ホームページ）にアクセスしていただくと、製品の最新情報やFAQなどがご覧いただけますので、ご利用ください。

株式会社ノバック WebサイトURL: <http://www.novac.co.jp/>

- * お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えてください（下記のお問い合わせ項目表をご参照ください）。
- * 電話がかかりにくい場合は、e-mailでお問い合わせください。
- * e-mailでのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせていただきます。
- * e-mailや電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただければ幸いです。

ユーザーサポートへのお問い合わせにあたっては、次の各項目を事前にご確認いただき、e-mailまたは電話にてお問い合わせください。

●お問い合わせのノバック製品情報	
製品名	PrimeTV 7133 (プライムティーヴィー)
型番	NV-PT1000
シリアル番号	
ご購入日（だいたいで構いません）	
●お客様の情報	
お名前	
ご連絡先	
●ご使用環境	
パソコン（またはマザーボード）の メーカー・製品名	
型番	
OS	
CPU	
メモリ容量	
併用しているビデオ関連周辺機器	
併用しているAVI CODEC	
●お問い合わせの内容（できるだけ詳しく教えてください）	
例えば、どんな操作をして、どんな症状が起こるかなど…	

MEMO



製造元: Animation Technologies, Inc.(台湾)
発売元: 株式会社ノバック